

消 防 年 報

令 和 7 年 版



【春】 フォリストパーク（軽米町）



【夏】 折爪岳のヒメボタル（九戸村）



【秋】 御所野縄文公園（一戸町）



【冬】 県立自然公園馬仙峡（二戸市）

令 和 8 年 刊 行



二戸地区広域行政事務組合消防本部

は し が き

この消防年報は、令和 7 年中における二戸地区広域行政事務組合管内の消防業務及び消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものであります。

また、消防事情を広く紹介し、消防行政に対する理解とご支援を賜りますとともに地域防災への指針として活用していただければ幸甚に存じます。

令和 8 年 7 月

二戸地区広域行政事務組合消防本部

目 次

◇ 概 要

1	二戸広域消防のあゆみ	1
2	二戸広域管内の概況	10
	(1) 構成市町村の人口等	11
	(2) 消防庁舎一覧表	11
3	組織	12
4	消防相互応援協定等	
	(1) 岩手県消防相互応援協定に関する協定	13
	(2) 隣接市町村消防相互応援協定	13
	(3) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定	13
	(4) 八戸自動車道消防相互応援協定	13
	(5) 救急医療情報システム運用に関する確認	13
	(6) 岩手県防災ヘリコプター応援協定	13
5	歴代消防長	14
6	歴代消防署長	14
7	予防	
	(1) 防火対象物	15
	(2) 建築同意	16
	(3) 消防用設備等（特殊消防用設備等）	17
	(4) 防火対象物定期点検報告制度	18
	(5) 危険物施設	19
	(6) 自主防災組織	21
8	警防	
	(1) 消防車両の配置状況	22
	(2) 通信施設	22
	(3) 消防水利	23
9	火災	
	(1) 出火件数	24

(2) 焼損面積及び損害額	25
(3) 死傷者	26
(4) 出火原因	26

10 救急

(1) 出動件数及び搬送人員	27
(2) 事故種別ごとの出動件数	28
(3) 事故種別ごとの搬送人員	29
(4) 八戸自動車道における救急出動状況	30

11 救助

(1) 出動件数及び救助人員	31
(2) 事故種別ごとの救助出動件数	32
(3) 事故種別ごとの救助人員	33

◇ 資 料 編

令和7年度中の主要行事	34
-------------------	----

<総務>

職員数	37
研修・資格講習	37
表彰受章者	37
消防職員の配置状況	38
階級・年齢別、在職年数別職員数	39
職員の資格取得状況	40

<予防>

防火対象物の状況	41
署分署別建築同意状況	42
中高層建築物の状況	43
消防用設備等（特殊消防用設備）の設置届出状況	44
防火対象物定期点検報告制度の状況	45
危険物施設の状況	46
自主防災組織の状況	47

<警防>

通信施設等の状況	48
消防車両等の保有状況	49

火災による損害状況	50
災害通報等受付件数	50
時間別・曜日別火災発生状況	51
焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況（過去 10 年間）	52
過去の林野火災（焼損面積 100 a 以上）	53
<救急>	
年別救急出動状況（過去 10 年間）	54
月別・曜日救急出動状況	55
年齢区分・傷病程度別搬送人員状況	56
管轄する高速自動車道の概要	57
高速自動車道における事故等の発生状況	57
高速自動車道における救急活動状況（過去 10 年間）	58
<救助>	
年別救助活動状況（過去 10 年間）	59
署分署別救助活動状況	60
事故発生場所別救助活動状況	61
署分署別救助出動・活動人員状況	62

概 要



【浄法寺漆・二戸市】

二戸市は、国産漆の約8割を生産している日本一の漆の産地です。浄法寺漆は生産量の多さだけでなく、良質な漆として知られ、世界遺産に登録されている中尊寺金色堂、日光東照宮をはじめ国宝、重要文化財などに使用されています。（二戸市ホームページから抜粋）

1 二戸広域消防のあゆみ

年 月	記 事
昭和 36 年 4 月	福岡町消防団常備部を設置する。
40 年 4 月	一戸町消防団常備部を設置する。
47 年 4 月	二戸市制施行に伴い、福岡町消防団常備部を二戸市消防団常備部とし、消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台及び司令車 1 台の計 3 台を保有する。（部長以下 10 名） 一戸町消防団常備部は、消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台及び連絡車 1 台の計 3 台を保有する。（班長以下 11 名）
48 年 3 月	二戸市消防本部及び二戸市消防署庁舎新築工事が完了、消防ポンプ自動車 2 台を購入する。
4 月	二戸市消防団常備部を廃止し、二戸市消防本部及び二戸市消防署を設置する。消防職員 8 名を増員し、消防本部 2 名、消防署 17 名、計 19 名で発足、さらに 1 名を増員し、消防職員 20 名となる。
5 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 21 名）
6 月	事務職員を 1 名採用し、二戸市消防本部に配属する。（実員 22 名） 岩手県農業共済組合連合会から救急車 1 台が寄贈され、二戸市消防署に配置する。
49 年 4 月	広域行政の一環として消防に関する事務を共同処理するため、二戸市消防本部並びに二戸市消防署及び一戸町消防団常備部を廃止し、新たに二戸市、一戸町、軽米町、浄法寺町及び九戸村の 5 市町村を管轄する、二戸地区広域行政事務組合消防本部を設立する。併せて職員定数条例を改正して消防機関定数を 70 名とし、消防本部 2 名、二戸消防署 22 名、一戸分署 15 名、軽米分署 7 名、浄法寺分署 8 名及び九戸分署 5 名、計 59 名で発足する。 二戸消防署に消防ポンプ自動車 2 台、救急車 1 台、司令車 1 台並びに一戸分署に消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台、連絡車 1 台を配備する。 初代消防長に中村善兵衛氏（二戸市助役兼務）が就任する。
8 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 63 名）
10 月	消防ポンプ自動車 3 台を購入し、軽米分署、浄法寺分署及び九戸分署に各 1 台を配備する。
12 月	司令車、連絡車各 1 台を購入し、それぞれ消防本部、九戸分署に配備する。 浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
50 年 1 月	日本損害保険協会より救急車 1 台が寄贈され、軽米分署に配備する。 九戸分署庁舎新築工事が完了する。
3 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 64 名） 軽米分署車庫新築工事が完了する。
4 月	第 2 代消防長に久保田喜一郎氏（二戸市派遣）が就任する。 職員定数条例を改正して消防機関定数 79 名とし、消防職員 11 名を採用する。（実員 75 名）

年 月	記 事
昭和 50 年 9 月	岩手県農業共済組合連合会より救急車 2 台が寄贈され、浄法寺分署、九戸分署に各 1 台を配備する。
11 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
51 年 3 月	連絡車 1 台を購入し、浄法寺分署に配備する。
11 月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
52 年 5 月	連絡車 1 台を購入し、二戸消防署に配備する。
8 月	岩手県農業共済組合連合会より救急車 1 台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
53 年 7 月	連絡車 1 台を購入し、軽米分署に配備する。
54 年 4 月	二戸消防署簡易救助訓練施設が完成する。
11 月	消防職員 5 名を採用する。（実員 79 名）
12 月	一戸分署庁舎新築工事が完了する。
55 年 11 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 81 名とする。
56 年 4 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し、一戸分署に配備する。
5 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 85 名とし、消防職員 6 名を採用する。（実員 83 名）
9 月	連絡車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
57 年 4 月	日本消防協会より救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
9 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 83 名）
58 年 4 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
59 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 88 名とし、消防職員 4 名を採用する。（実員 86 名）
60 年 4 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 87 名）
12 月	第 3 代消防長に佐々木新一氏（二戸市派遣）が就任する。
61 年 3 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 88 名）
4 月	二戸地区空中消火等補給基地が完成する。
8 月	日本消防協会から救急車 1 台が寄贈され、一戸分署に更新配備する。
10 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 90 名とし、消防職員 2 名を採用する。（実員 89 名）
12 月	司令車 1 台を購入し、消防本部に配備する。
62 年 4 月	救急車 1 台を購入し、軽米分署に更新配備する。
10 月	消防用短波無線電話装置基地局を設置する。
63 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 91 名とし、消防職員 4 名を採用する。（実員 91 名）
10 月	救急車 1 台を購入し、浄法寺分署に更新配備する。
平成 元年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 92 名とし、消防職員 5 名を採用する。（実員 92 名）

年 月	記 事
平成 元 年 8 月	日本消防協会より救急車 1 台が寄贈され、九戸分署に更新配備する。
1 0 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
2 年 2 月	4 週 6 休制を実施する。
4 月	岩手県消防学校に主任消防教官として 1 名を派遣する。（平成 4 年 3 月まで）
7 月	連絡車 1 台を購入し、九戸分署に更新配備する。
9 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。
1 0 月	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、二戸消防署に配備する。
1 2 月	4 週 8 休制（土曜閉庁）を実施する。
3 年 1 月	山之内製薬株式会社より救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
3 月	二戸消防署車庫増築工事が完了する。
6 月	連絡車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
1 0 月	浄法寺分署車庫増築工事が完了する。
1 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し九戸分署に更新配備する。
4 年 4 月	第 4 代消防長に小川吉亮氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 3 名を採用する。（実員 9 2 名）
8 月	連絡車 1 台を購入し、軽米分署に更新配備する。
9 月	司令車 1 台を購入し、消防本部に更新配備する。 二戸消防署救助訓練施設の拡張整備が完了する。
1 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し、浄法寺分署に配備する。 二戸市から公用車の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
1 2 月	一戸分署倉庫新築工事が完了する。
5 年 3 月	安田生命保険相互会社から救急車 1 台が寄贈され、二戸消防署に更新配備する。
4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 9 7 名とし、消防職員 5 名を採用する。 （実員 9 7 名）
7 月	日本防火協会から防火広報車 1 台が寄贈され、消防本部に配備する。
9 月	完全週休二日制を実施する。 連絡車 1 台を購入し、浄法寺分署に更新配備する。
1 1 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 9 7 名）
6 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 1 0 4 名とし、消防職員 4 名を採用する。 （実員 1 0 0 名）
7 年 4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 1 0 2 名）
1 1 月	救急業務の高度化推進に伴い、1 名が救急救命士免許を取得する。
8 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し、二戸消防署に更新配備する。
3 月	屈折はしご付消防自動車 1 台を購入し、消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 1 0 4 名）

年 月	記 事
平成 8 年 8 月	岩手県防災航空隊発足に伴い、職員 1 名を同隊に派遣する。（平成 1 1 年 3 月まで）
1 1 月	消防本部の組織改編を実施し、2 課 4 係体制とする。
1 2 月	救急車 2 台を購入し、軽米分署、九戸分署に各 1 台を更新配備する。
9 年 4 月	職員定数条例を改正して消防機関定数を 1 1 5 名とし、消防職員 3 名を採用する。 （実員 1 0 7 名）
5 月	救急救命士免許取得者 2 名となる。
1 2 月	救急救命士免許取得者 3 名となる。
1 0 年 1 月	第 5 代消防長に佐々木正勝氏（二戸市派遣）が就任する。
2 月	高規格救急車 1 台を購入し、二戸消防署に更新配備する。
4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 1 0 8 名） 携帯電話からの 1 1 9 番通報受信装置の運用を開始する。
6 月	二戸地区空中消火等補給基地の一部に舗装を施工し、ポンプ操法訓練場として運用を開始する。
8 月	二戸市の緊急通報システム運用に伴う受信装置の運用を開始する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 4 名となる。
1 1 年 2 月	救助工作車（Ⅱ型）1 台を購入し、消防本部に配備する。
4 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 1 1 0 名）
5 月	救急救命士免許取得者 5 名となる。
1 1 月	救急救命士免許取得者 6 名となる。
1 2 年 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 1 1 2 名） 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 1 5 年 3 月まで）
5 月	救急救命士免許取得者 7 名となる。 指揮車、連絡車各 1 台を購入し、それぞれ二戸消防署、九戸分署に更新配備する。 また、資機材搬送車 1 台を購入し、消防本部に配備する。
1 3 年 1 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
7 月	二戸市から中型バス 1 台の無償譲渡を受け、消防本部に配備する。
9 月	高規格救急車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
1 1 月	救急救命士免許取得者 9 名となる。
1 4 年 4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 1 1 3 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 1 1 名となる。
1 2 月	高規格救急車 1 台を購入し、軽米分署に更新配備する。
1 5 年 4 月	第 6 代消防長に久保田孝男氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 2 名を採用する。（実員 1 1 2 名）
1 1 月	救急救命士免許取得者 1 2 名となる。

年 月	記 事
平成 15 年 12 月	高規格救急車 1 台を購入し、浄法寺分署に更新配備する。
16 年 4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 111 名） 救急救命士免許取得者 13 名となる。
8 月	連絡車 1 台を購入し、消防本部に更新配備する。
11 月	救急救命士免許取得者 14 名となる。
12 月	消防大学校専科教育救助科（第 51 期）を 1 名修了する。 高規格救急車 1 台を購入し、九戸分署に更新配備する。
17 年 4 月	救急救命士免許取得者 15 名となる。
5 月	救急救命士処置拡大により、気管挿管講習（未修了者対象）を開始する。
11 月	救急救命士免許取得者 16 名となる。
12 月	消防大学校専科教育予防科（第 78 期）を 1 名修了する。
18 年 4 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 110 名） 救急救命士免許取得者 17 名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 21 年 3 月まで）
8 月	消防大学校専科教育火災調査科（第 11 期）を 1 名修了する。
12 月	救急救命士処置拡大により、薬剤投与講習（未修了者対象）を開始する。
19 年 3 月	司令車 1 台を購入し、消防本部に更新配備する。
4 月	救急救命士免許取得者 18 名となる。
8 月	消防大学校専科教育警防科（第 81 期）を 1 名修了する。
10 月	連絡車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
11 月	高規格救急車 1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
20 年 4 月	第 7 代消防長に木村貢氏が就任する。 消防職員 2 名を採用する。（実員 107 名） 救急救命士免許取得者 19 名となる。
8 月	連絡車 1 台を購入し、軽米分署に更新配備する。
21 年 4 月	第 8 代消防長に田村利明氏が就任する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2 課 5 係及び 1 署 4 係体制とする。 消防職員 4 名を採用する。（実員 108 名） 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 24 年 3 月まで）
8 月	連絡車 1 台を購入し浄法寺分署に更新配備する。
21 年 11 月	平成 21 年度岩手県総合防災訓練が二戸市で開催される。
22 年 4 月	消防職員 4 名を採用する。（実員 109 名）
5 月	救急救命士免許取得者 20 名となる。
12 月	消防大学校総合教育幹部科（第 23 期）を 1 名修了する。
23 年 4 月	第 9 代消防長に山田武實氏が就任する。 消防職員 6 名を採用する。（実員 109 名）

年 月	記 事
平成 23 年 4 月	救急救命士免許取得者 21 名となる。
24 年 4 月	第 10 代消防長に目時栄氏（二戸市派遣）が就任する。 消防職員 6 名を採用する。（実員 112 名） 岩手県消防学校に主任消防教官として 1 名を派遣する。（平成 26 年 3 月まで） 救急救命士免許取得者 22 名となる。
12 月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 広報車 1 台を購入し、消防本部に配備する。
25 年 3 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1 台を購入し二戸消防署に更新配備する。
4 月	消防職員 7 名を採用する。（実員 112 名） 救急救命士免許取得者 23 名となる。 浄法寺分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
9 月	救急救命士処置拡大に伴う薬剤投与講習を全救急救命士が修了する。
11 月	軽米分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。 浄法寺分署庁舎新築工事が始まる。 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1 台を購入し軽米分署に更新配備する。 高規格救急車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
12 月	消防大学校専科教育火災調査科（第 26 期）を 1 名修了する。 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、消防本部に更新配備する。
26 年 4 月	消防職員 7 名を採用する。（実員 114 名） 救急救命士免許取得者 24 名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。（平成 29 年 3 月まで）
5 月	浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
6 月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事及び軽米分署庁舎新築工事が始まる。 指導救命士養成研修（九州研修所）を 1 名修了する。 救急救命士処置拡大 2 項目講習（未修了者対象）を開始する。
8 月	指導救命士養成研修（九州研修所）を 1 名修了する。
9 月	救急救命士処置拡大により、ビデオ喉頭鏡による気管挿管講習（未修了者対象）を開始する。
12 月	消防大学校専科教育火災調査科（第 28 期）を 1 名修了する。 消防大学校実務講習違反是正特別講習（第 2 回）を 1 名修了する。
27 年 1 月	高規格救急車 1 台を購入し、浄法寺分署に更新配備する。
2 月	軽米分署庁舎新築工事が完了する。
3 月	消防大学校専科教育予防科（第 97 期）を 1 名修了する。 消防本部及び消防署の組織改編を実施し、2 課 6 係及び 1 署 4 係体制とする。
4 月	消防職員 1 名を採用する。（実員 114 名） 救急救命士免許取得者 26 名となる。

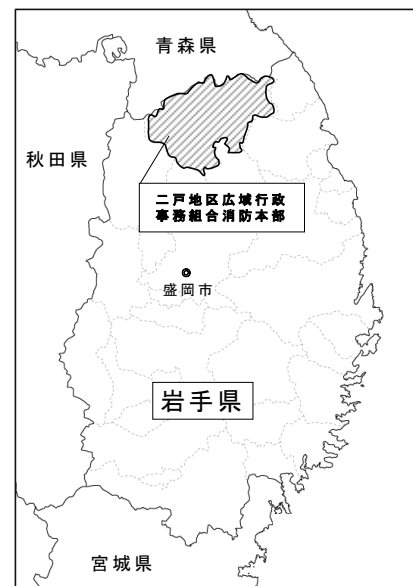
年 月	記 事
平成 27 年 6 月	消防大学校専科教育救助科（第71期）を1名修了する。
10 月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事が完了する。
	消防大学校専科教育救急科（第77期）を1名修了する。
11 月	消防本部併設二戸消防署新庁舎で業務を開始する。併せて高機能指令センター並びに消防救急デジタル無線の運用を開始する。
28 年 1 月	株式会社オノデラサインより事務連絡車1台が寄贈され、消防本部に配備する。
2 月	高規格救急車1台を購入し軽米分署に更新配備する。
3 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し、九戸分署に更新配備する。
4 月	消防職員8名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者28名となる。
10 月	高規格救急車1台を購入し、九戸分署に更新配備する。
12 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し、浄法寺分署に更新配備する。
29 年 4 月	消防職員2名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者29名となる。
9 月	救急救命士処置拡大2項目講習を全救急救命士が修了する。
10 月	高規格救急車1台を購入し、二戸消防署に更新配備する。
11 月	広報車1台を購入し九戸分署に更新配備する。
30 年 3 月	消防ポンプ付大型水槽車1台を購入し、消防本部に配備する。
4 月	第11代消防長に田中長治氏が就任する。
	消防職員2名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者32名となる。
	岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。（令和3年3月まで）
5 月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第14回）を1名修了する。
12 月	消防大学校専科教育火災調査科（第36期）を1名修了する。
31 年 2 月	消防ポンプ自動車1台を購入し、二戸消防署に更新配備する。
4 月	消防職員1名を採用する。（実員115名）
	救急救命士免許取得者34名となる。
令和 元年 5 月	消防大学校実務講習自主防災組織育成コース（第15回）を1名修了する。
6 月	連絡車1台を購入し、消防本部に更新配備する。
7 月	救急救命士処置拡大に伴うビデオ喉頭鏡による気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8 月	指導救命士養成研修（九州研修所）を1名修了する。
9 月	広報車1台を購入し、二戸消防署に更新配備する。
12 月	水槽付ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し、一戸分署に更新配備する。
2 年 4 月	第12代消防長に長興寺一弘氏が就任する。
	消防職員4名を採用する。（実員115名）

年 月	記 事
令和 2 年 4 月	救急救命士免許取得者 36 名となる。 第98回全国消防長会技術委員会が当組合消防本部主催で開催される。 (新型コロナウイルス感染症が蔓延したことから、感染拡大防止の観点により書 面会議方式として開催し、当年 5 月 25 日審議結果を報告する。)
6 月	救急救命士処置拡大に伴う気管挿管講習を全救急救命士が修了する。
8 月	九戸分署庁舎新築工事建設設計業務を委託契約する。
3 年 1 月	総務省消防庁より高機能救命ボートが貸与され、緊急消防援助隊使用物品として 消防本部に配備する。
4 月	第 13 代消防長に十文字英之氏が就任する。 消防職員 4 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名) 救急救命士免許取得者 35 名となる。 岩手県防災航空隊に職員 1 名を派遣する。(令和 6 年 3 月まで)
5 月	九戸分署庁舎新築工事が始まる。
7 月	消防大学校専科教育危険物科(第 16 期)を 1 名修了する。
12 月	消防大学校専科教育警防科(第 109 期)を 1 名修了する。
4 年 3 月	九戸分署庁舎新築工事が完了する。
4 月	消防職員 1 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 1 名) 救急救命士免許取得者 36 名となる。 県内 10 消防本部による「いわて消防通信指令事務協議会」の設立により、同協 議会推進室に職員 1 名を派遣する。(令和 7 年 3 月まで)
7 月	指導救命士養成研修(九州研修所)を 1 名修了する。 消防大学校専科教育危険物科(第 17 期)を 1 名修了する。 消防大学校総合教育幹部科(第 69 期)を 1 名修了する。
5 年 4 月	第 14 代消防長に脇澤忍が就任する。 消防職員 6 名を採用する。(実員 115 名・うち再任用職員 2 名) 救急救命士免許取得者 36 名となる。
7 月	指導救命士養成研修(九州研修所)を 1 名修了する。
10 月	屈折はしご消防自動車を購入し、消防本部に更新配備する。
11 月	一般財団法人救急振興財団より救急普及啓発広報車 1 台を寄贈され、消防本部に 配備する。
6 年 3 月	消防大学校専科予防科(第 115 期)を 1 名修了する。 消防大学校専科新任教官科(第 17 期)を 1 名修了する。 広報車 1 台を購入し軽米分署に更新配備する。 高規格救急車 1 台を購入し、一戸分署に更新配備する。
4 月	第 15 代消防長に深田泰之が就任する。 消防本部初の女性消防吏員 1 名を含む消防職員 4 名を採用する。(実員 115 名)

年 月	記 事
令和 6 年 4 月	岩手県消防学校の教官に職員 1 名を派遣する。（令和 8 年 3 月まで） 救急救命士免許取得者 38 名となる。 「いわて消防通信指令事務協議会」協議会推進室に職員 1 名を派遣する。 （令和 8 年 3 月まで）
10 月	消防ポンプ自動車 1 台を購入し一戸分署に更新配備する。
11 月	水槽付ポンプ自動車（Ⅱ型）1 台を購入し、消防本部に更新配備する。
7 年 1 月	高規格救急車 1 台を購入し、浄法寺分署に更新配備する。
2 月	資機材搬送車 1 台を購入し、消防本部に更新配備する。
4 月	消防職員 3 名を採用する。（実員 117 名・うち再任用職員 1 名） 救急救命士免許取得者 40 名となる。
9 月	株式会社オノデラサインより高規格救急車を寄贈され、二戸消防署に配備する。
10 月	消防大学校幹部科（第82期）を 1 名修了する。
8 年 3 月	高規格救急車 1 台を購入し、軽米分署に更新配備する。
4 月	消防職員 2 名を採用する。（実員 118 名） いわて消防指令センター共同運用開始となる。 いわて消防指令センターに職員 2 名を派遣する。 救急救命士免許取得者 41 名となる。

2 二戸広域管内の概況

当広域圏は、岩手県の最北部に位置しており平成18年1月の市町村合併を経て、現在は二戸市、軽米町、一戸町及び九戸村の1市2町1村で構成され、1本部1署4分署を配置しています。



(1) 構成市町村の人口等

令和8年4月1日現在

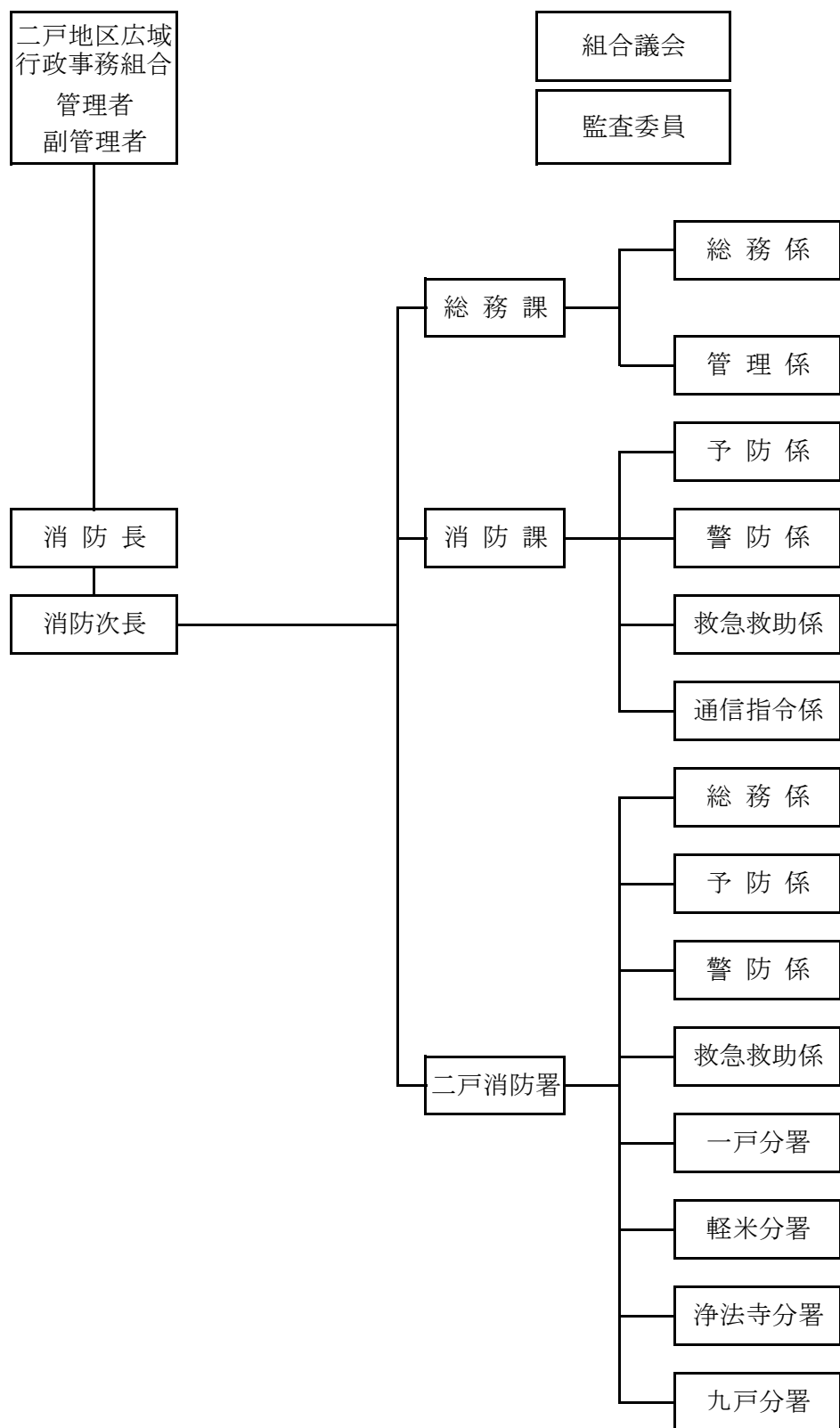
区 分 市町村名	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	面 積 (km ²)	人口密度 (人口／面積)
二 戸 市	23,306	11,524	420.42	55.44
一 戸 町	10,183	5,283	300.03	33.94
軽 米 町	7,577	3,549	245.82	30.82
九 戸 村	4,912	2,162	134.02	36.65
計	45,978	22,518	1,100.29	41.79

(2) 消防庁舎一覧表

区 分	所 在 地	構造・階数	敷地面積	建 築 面 積 延 面 積	竣工年月
消 防 本 部 二戸消防署	〒028-5711 二戸市金田一字上田面300番地2 TEL 0195-26-8111	R C 造 2 階 建	9,211.470m ²	1,508.48m ²	H27. 7新築
				2,402.48m ²	
一 戸 分 署	〒028-5301 一戸町西法寺字関屋157番地1 TEL 0195-33-3119	R C 造 2 階 建	1,730.085m ²	359.47m ²	S54. 11新築
				662.66m ²	
軽米分署	〒028-6302 軽米町大字軽米第3地割74番地1 TEL 0195-46-4119	R C 造 1 階 建	1,773.700m ²	542.09m ²	H27. 3新築
				502.12m ²	
浄法寺分署	〒028-6854 二戸市浄法寺町下前田28番地2 TEL 0195-38-4119	鉄 骨 造 2 階 建	522.668m ²	331.65m ²	H26. 5新築
				494.98m ²	
九 戸 分 署	〒028-6502 九戸村大字伊保内第12地割65番地1 TEL 0195-42-3119	R C 造 2 階 建	3, 425.035m ²	618.37m ²	R4. 3新築
				688.44m ²	

3 組 織

二戸地区広域行政事務組合消防本部・消防署の組織



4 消防相互応援協定等

(1) 岩手県消防相互応援協定に関する協定

団 体 名 等	締 結 年 月 日
盛岡地区広域消防組合	締結改正
奥州金ヶ崎行政事務組合	締 結 平成13年5月1日
一関市消防本部	全部改正 平成19年4月1日
大船渡地区消防組合	
遠野市消防本部	
宮古地区広域行政組合	
花巻市消防本部	
釜石大槌地区行政事務組合	
久慈広域連合	
陸前高田市消防本部	
北上地区消防組合	

(2) 隣接市町村消防相互応援協定

団 体 名 等	締 結 年 月 日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締 結 平成11年4月1日
久慈広域連合	締 結 令和8年3月16日

(3) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定

団 体 名 等	締 結 年 月 日
盛岡地区広域消防組合	締 結 昭和52年11月19日
奥州金ヶ崎行政事務組合	変 更 昭和54年10月13日
一関市消防本部	変 更 平成元年9月7日
花巻市消防本部	
北上地区消防組合	

(4) 八戸自動車道消防相互応援協定

団 体 名 等	締 結 年 月 日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締 結 昭和61年11月27日

(5) 救急医療情報システム運用に関する確認

団 体 名 等	締 結 年 月 日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締 結 平成元年12月8日
久慈広域連合	

(6) 岩手県防災ヘリコプター応援協定

団 体 名 等	締 結 年 月 日
岩手県	締 結 平成8年10月1日
岩手県内各市町村	
岩手県内各消防本部	

5 歴代消防長

区分	氏 名	就 任	退 任	備 考
初代	中 村 善兵衛	S49. 4. 1	S50. 3. 31	二戸市助役兼務
2代	久保田 喜一郎	S50. 4. 1	S61. 3. 31	二戸市派遣
3代	佐々木 新 一	S61. 4. 1	H 4. 3. 31	〃
4代	小 川 吉 亮	H 4. 4. 1	H 9. 12. 31	〃
5代	佐々木 正 勝	H10. 4. 1	H15. 3. 31	〃
6代	久保田 孝 男	H15. 4. 1	H20. 3. 31	〃
7代	木 村 貢	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
8代	田 村 利 明	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
9代	山 田 武 實	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	目 時 栄	H24. 4. 1	H30. 3. 31	二戸市派遣
11代	田 中 長 治	H30. 4. 1	R 2. 3. 31	
12代	長興寺 一 弘	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
13代	十文字 英 之	R 3. 4. 1	R 5. 3. 31	
14代	脇 澤 忍	R 5. 4. 1	R 6. 3. 31	
15代	深 田 泰 之	R 6. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合消防本部発足

6 歴代消防署長

区分	氏 名	就 任	退 任	備 考
初代	久保田 喜一郎	S49. 4. 1	S61. 3. 31	消防長兼務
2代	佐々木 新 一	S61. 4. 1	S62. 3. 31	消防長兼務
3代	小 川 吉 亮	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	消防次長兼務
4代	吉 田 平 悦	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
5代	小 川 吉 亮	H 8. 4. 1	H 8. 10. 31	消防長、消防次長兼務
6代	東 山 佐久三	H 8. 11. 1	H10. 3. 31	
7代	江六前 実	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
8代	荒 澤 作 郎	H14. 4. 1	H18. 3. 31	
9代	橋 本 信 孝	H18. 4. 1	H19. 3. 31	
10代	田 村 利 明	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
11代	泉 山 義 夫	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	山 田 武 實	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
13代	中 村 英 明	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
14代	角 田 勇 吉	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
15代	佐々木 良 雄	H26. 4. 1	H28. 3. 31	
16代	横 浜 貞 則	H28. 4. 1	H29. 3. 31	
17代	林 健 一	H29. 4. 1	R 2. 3. 31	
18代	日 山 智嘉雄	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
19代	横 濱 勇 悦	R 3. 4. 1	R 5. 3. 31	
20代	柴 田 幸 司	R 5. 4. 1	R 6. 3. 31	消防次長兼務
21代	新井田 均	R 6. 4. 1	R 8. 3. 31	消防次長兼務
22代	斗 米 聡 明	R 8. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合 二戸消防署発足

7 予 防

(1) 防火対象物

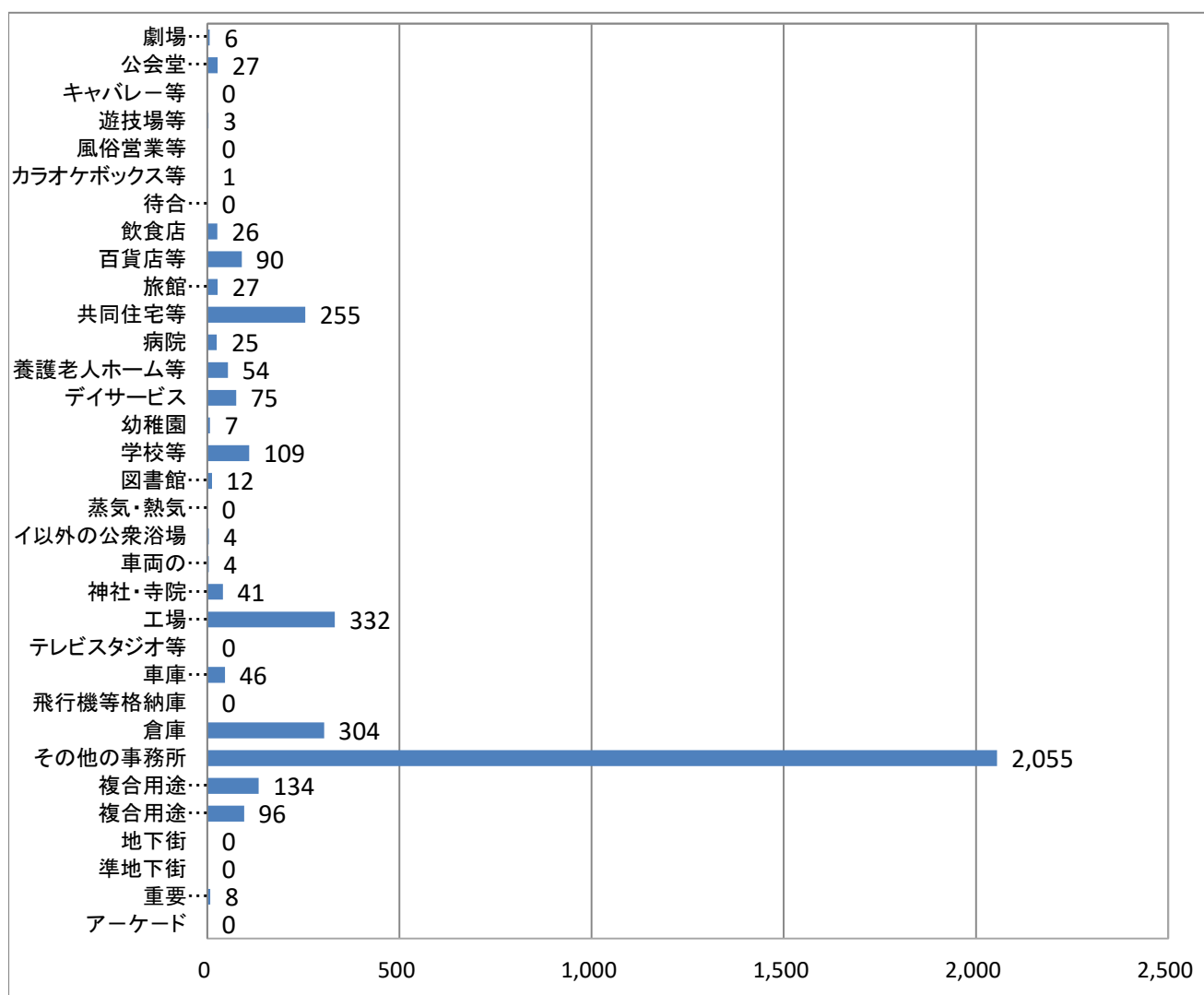
学校、病院、工場、事業場、百貨店、旅館、ホテル等の防火対象物は、3,741件であり、前年度に比べ21件の増加となっています。

市町村別の防火対象物数は、次のとおりです。

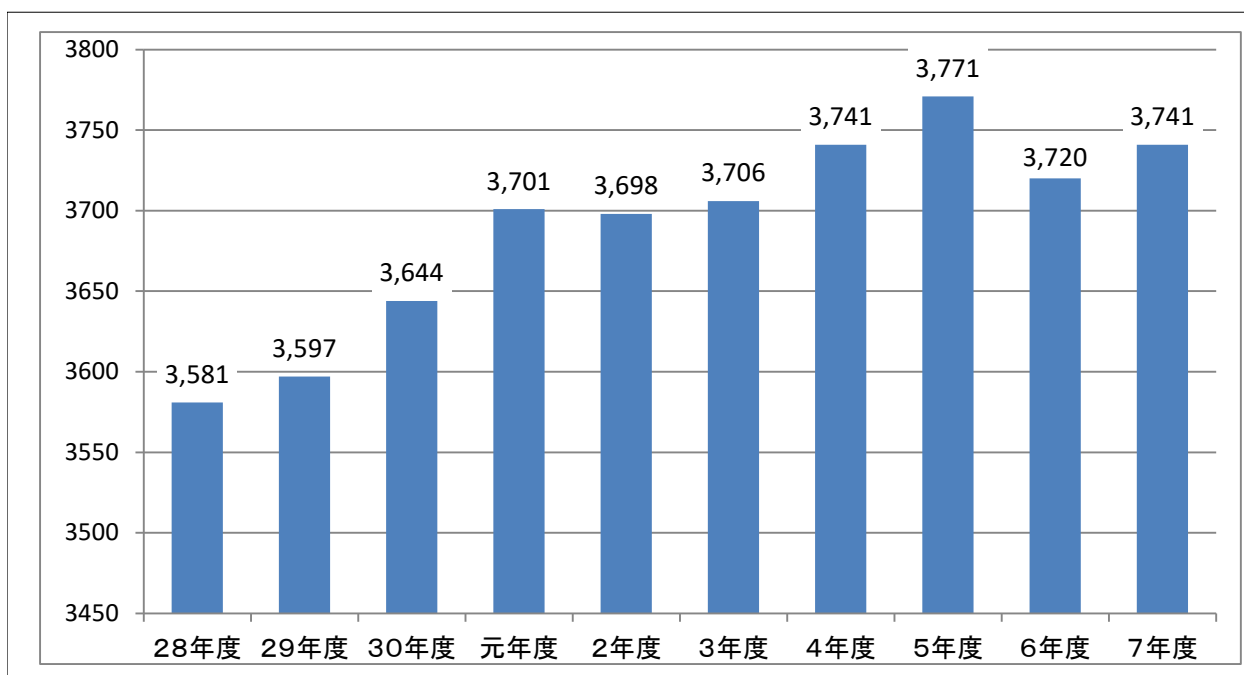
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
7年度	1,464	860	689	728	3,741
6年度	1,457	861	680	722	3,720
増減	7	△ 1	9	6	21

防火対象物の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の防火対象物数の推移は、次のとおりです。



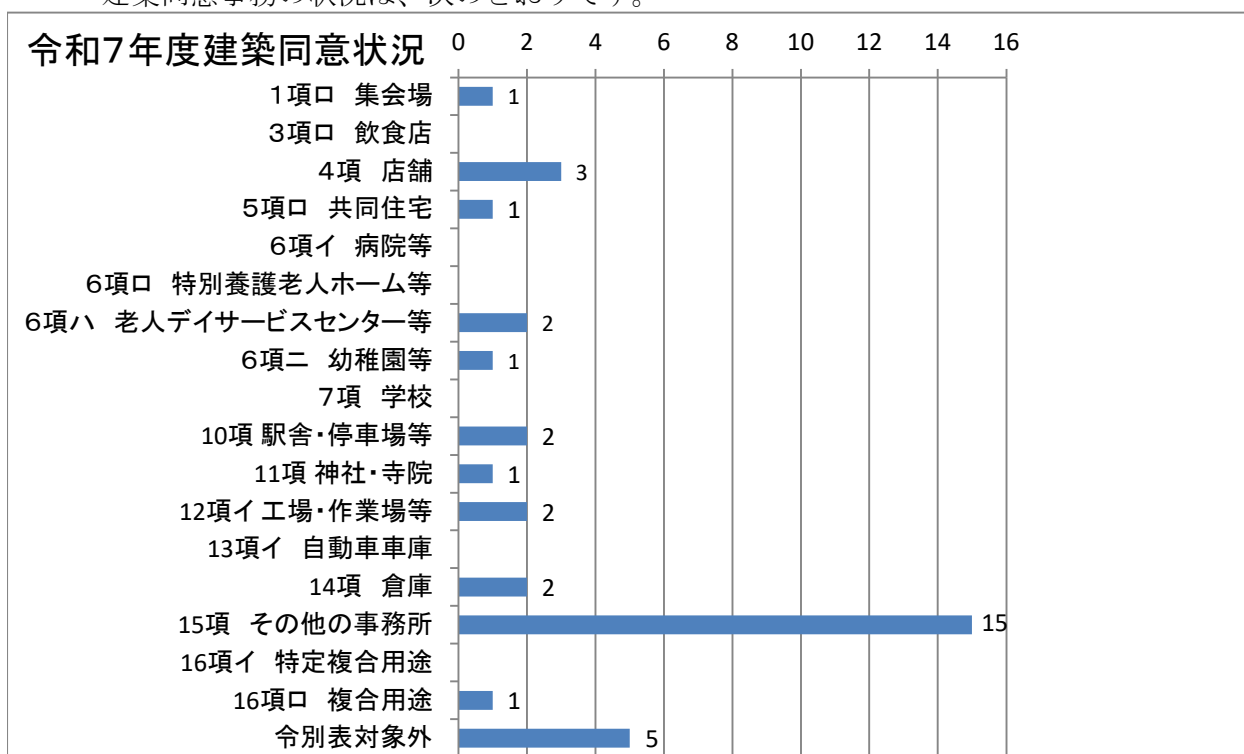
(2) 建築同意

新築、増築、改築等の建築同意件数は36件であり、前年度より27件の減少となっています。

市町村別の建築同意件数は、次のとおりです。

区 分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
7年度	16	4	11	5	36
6年度	30	9	15	9	63
増 減	△ 14	△ 5	△ 4	2	△ 27

建築同意事務の状況は、次のとおりです。



(3) 消防用設備等(特殊消防用設備等)

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、避難器具等の消防用設備等の着工届出数は、21件であり、前年度に比べ5件増加しています。

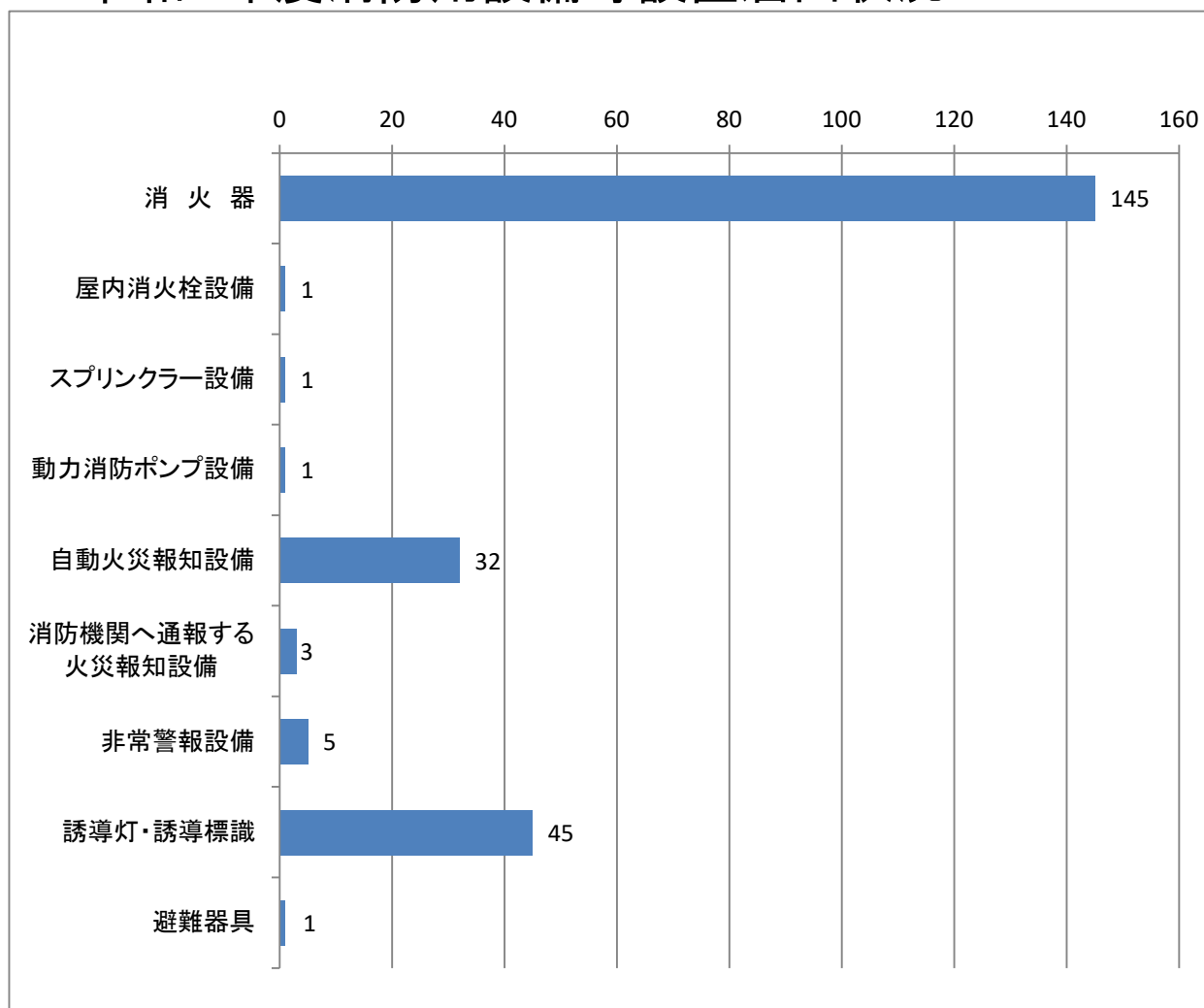
また、設置届出は、234件であり、前年度に比べ304件減少しています。

消防用設備等別の届出数は、次のとおりです。

区 分	消防の用に供する設備						消防用水		消火活動上 必要な設備		合 計	
	消火設備		警報設備		避難設備							
	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置
7年度	1	148	19	40	1	46	0	0	0	0	21	234
6年度	1	458	15	36	0	44	0	0	0	0	16	538
増 減	0	△ 310	4	4	1	2	0	0	0	0	5	△ 304

消防用設備等の設置届出の内訳は、次のとおりです。

令和7年度消防用設備等設置届出状況



(4) 防火対象物定期点検報告制度

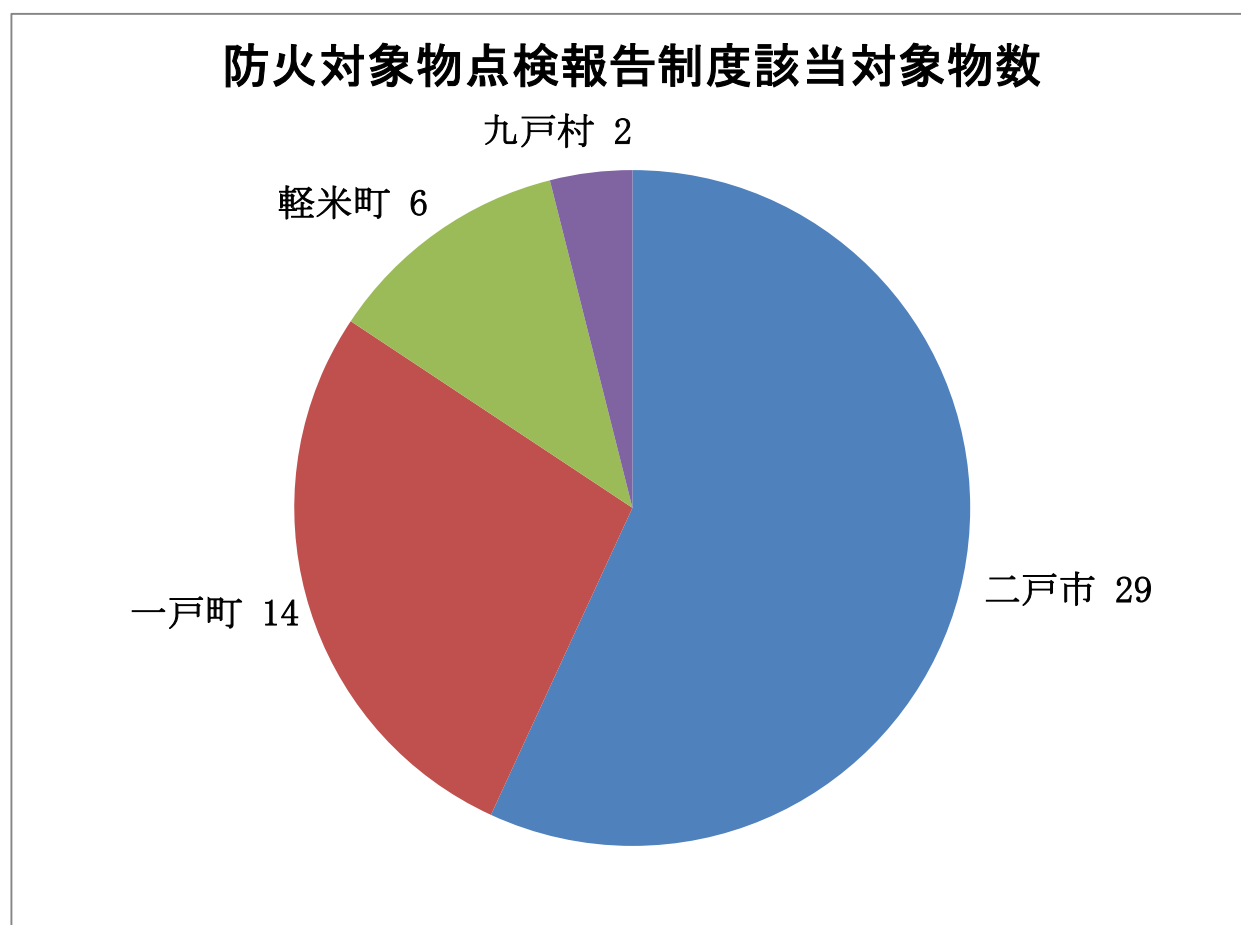
防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数は、51件であり、前年度から変更ありません。

市町村別の防火対象物点検報告制度に該当する防火対象物数は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
7年度	29	14	6	2	51
6年度	29	14	6	2	51
増減	0	0	0	0	0

防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数の内訳は、次のとおりです。



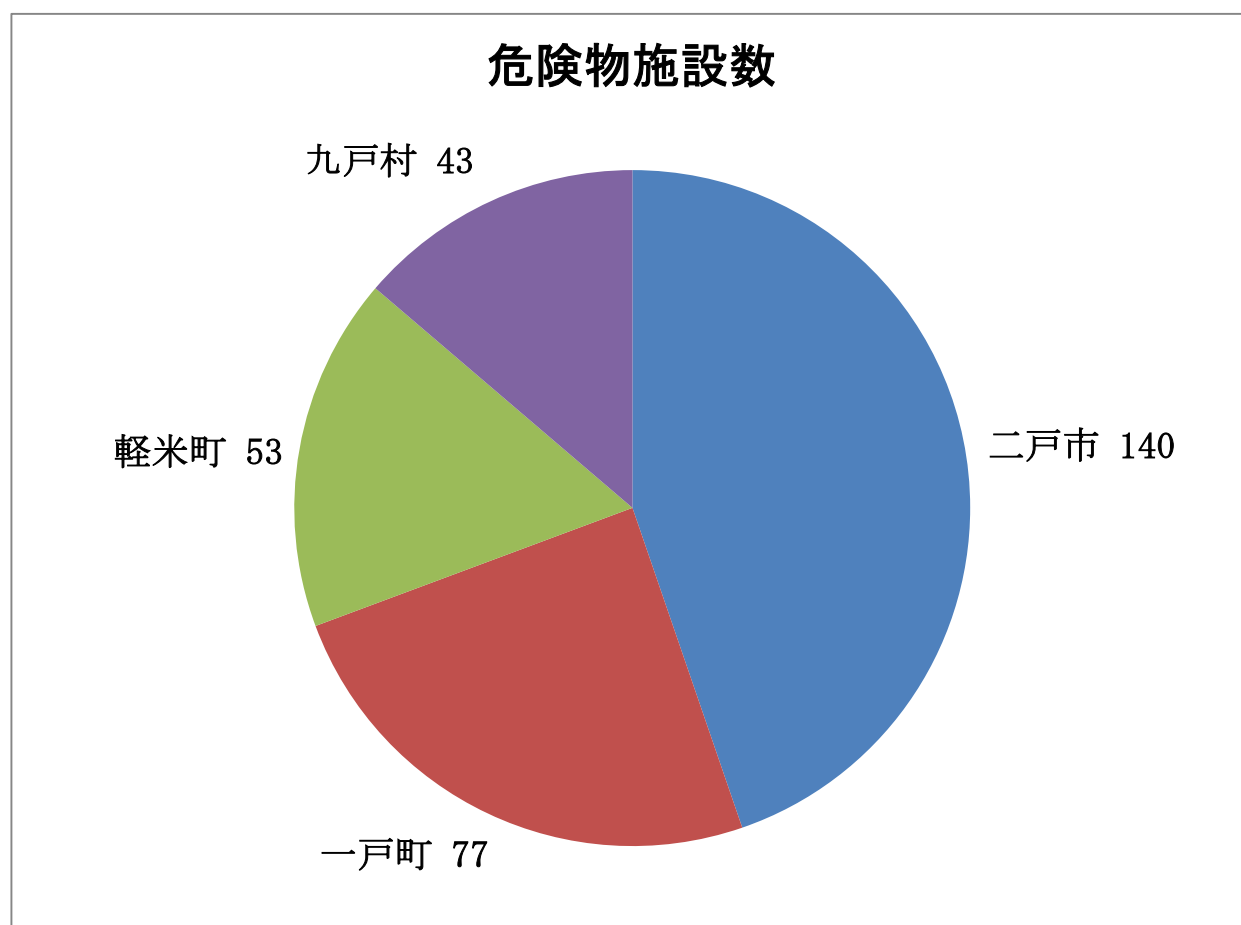
(5) 危険物施設

給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所等の危険物施設数は313施設であり、前年度に比べて11施設減少しています。

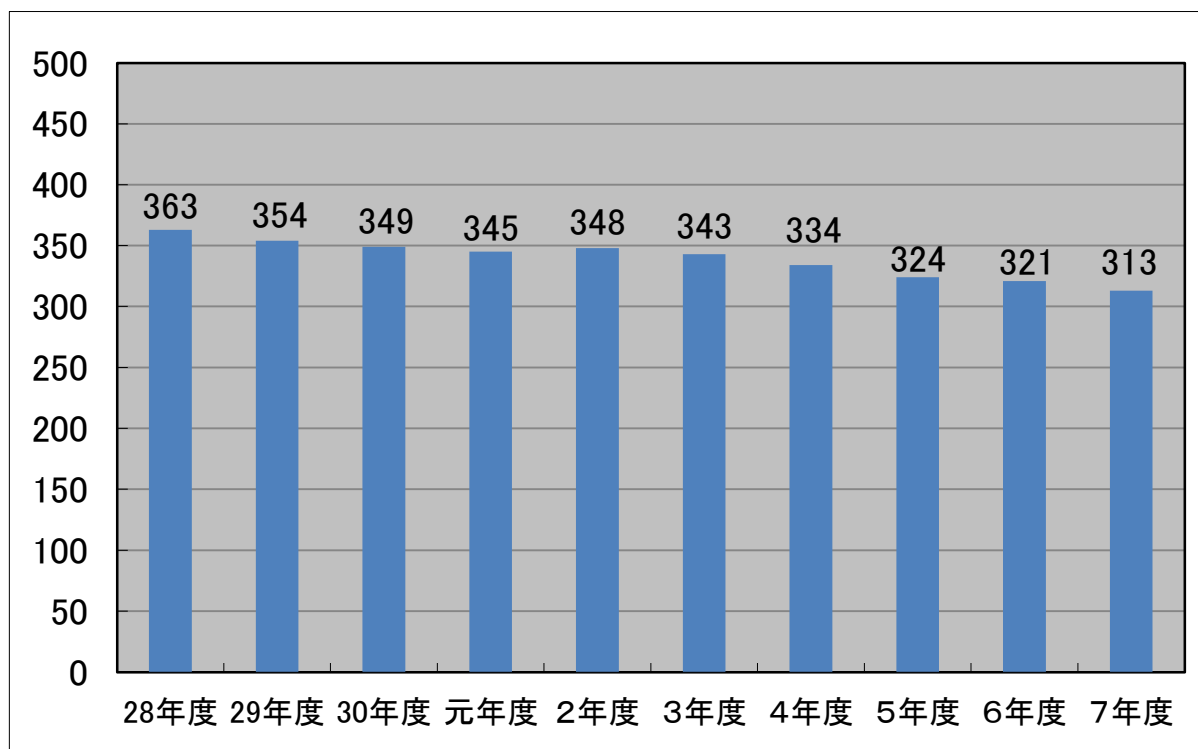
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
7年度	140	77	53	43	313
6年度	144	83	53	44	324
増減	△ 4	△ 6	0	△ 1	△ 11

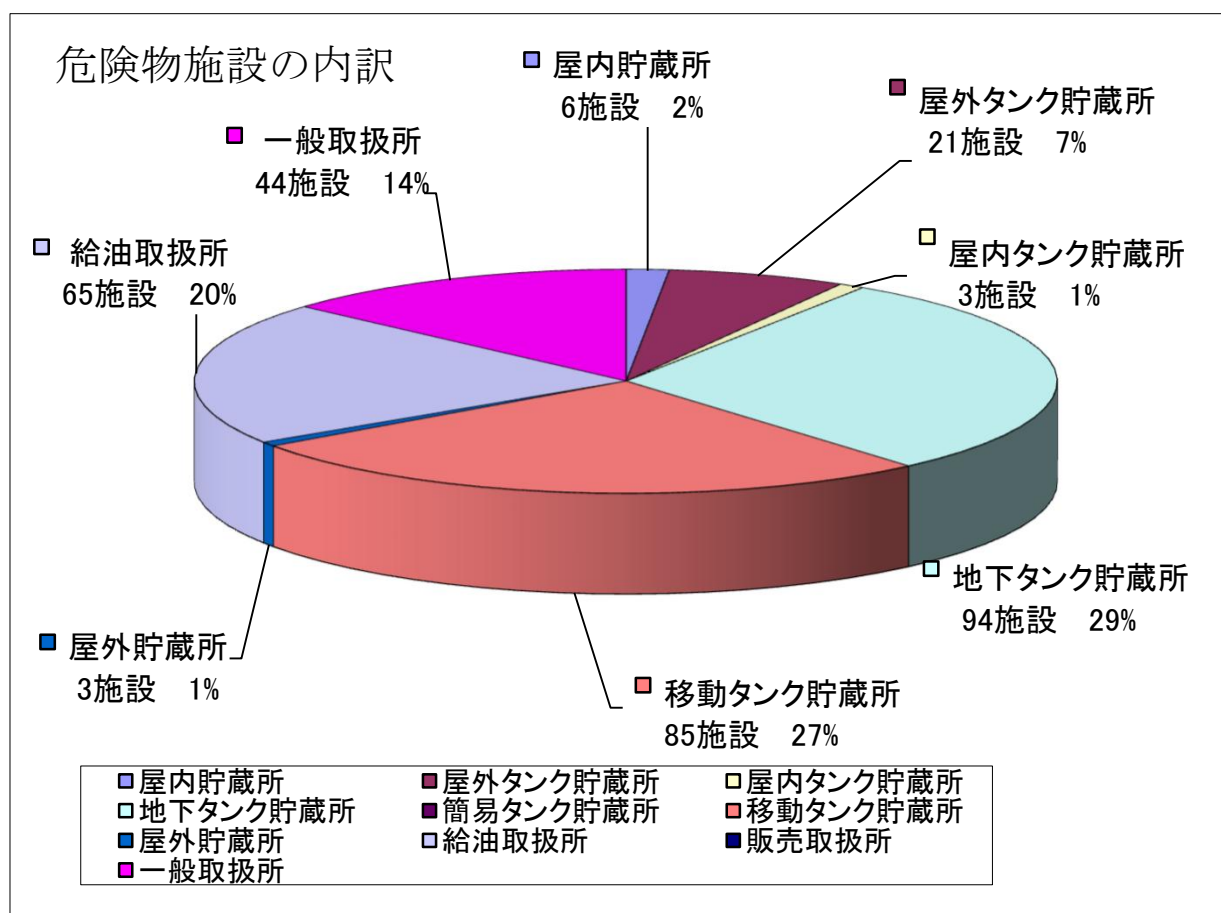
危険物施設の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の危険物施設の推移は、次のとおりです。



令和7年度中の危険物施設の内訳は次のとおりです。



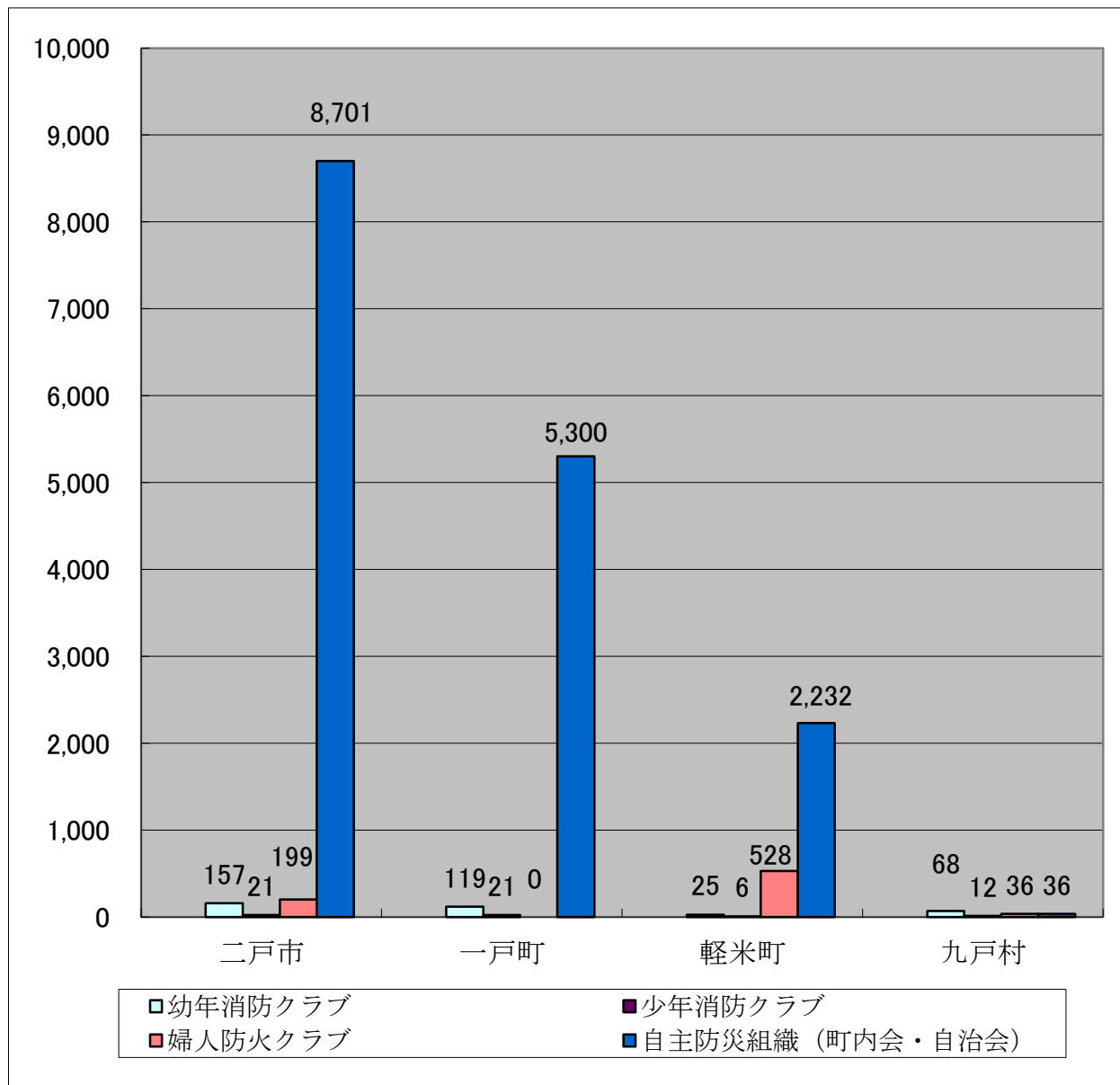
(6) 自主防災組織

防火クラブ等の自主防災組織は122団体であり、前年度に比べ6団体減少しました。
市町村別の組織状況は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区 分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
令和7年度	42	29	48	3	122
令和6年度	45	34	43	6	128
増 減	△ 3	△ 5	5	△ 3	△ 6

自主防災組織会員数の内訳は、次のとおりです。



8 警 防

(1) 消防車両の配置状況

令和8年4月1日現在

区分 所属	消防ポンプ自動車				特殊消防自動車						救急自動車			その他の消防車両			合 計
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	消 防 ポ ン プ 付 大 型 水 槽 車	小 計	指 揮 車 (無 線 中 継 車)	救 助 工 作 車	屈 折 梯 子 車	人 員 輸 送 車	資 機 材 搬 送 車	小 計	高 規 格 救 急 自 動 車	非 常 用 救 急 自 動 車	小 計	応 急 手 当 普 及 啓 発 広 報 車	広 報 車	小 計	
消 防 本 部		1	1	2	1	1	1	1	1	5		1	1	1		1	9
二 戸 消 防 署	1	1		2					1	1	1		1		1	1	5
一 戸 分 署	1	1		2						0	1		1		1	1	4
軽 米 分 署		1		1						0	1		1		1	1	3
浄 法 寺 分 署		1		1						0	1		1		1	1	3
九 戸 分 署		1		1						0	1		1		1	1	3
合 計	2	6	1	9	1	1	1	1	2	6	5	1	6	1	5	6	27

(2) 通信施設

令和8年4月1日現在

総合防災情報ネットワークシステム端末装置	防 災 行 政 無 線 端 末 装 置	火 災 ・ 救 急 専 用 電 話	衛 星 通 信 利 用 災 害 専 用 電 話	衛 星 携 帯 電 話	直 通 電 話 東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社	消防無線電話装置					
						固定局	基地局	移動局			
								車 載 型	卓 上 型	可 搬 型	携 帯 型
1	4	0	6	15	1	2	3	28	6	7	37

(3) 消防水利

令和8年4月1日現在

区 分			二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
基 準 数			605	635	277	250	1,767
現 有 数	消 火 栓	地上式	505	396	302	189	1,392
		地下式	0	0	0	0	0
		小 計	505	396	302	189	1,392
	防 火 水 槽	40m ³ 級未満	86	27	20	142	275
		40m ³ 級	281	140	201	13	635
		100m ³ 級	4	0	2	0	6
		小 計	371	167	223	155	916
	合 計		876	563	525	344	2,308
		基準に適合する水利数	790	536	505	202	2,033
	充 足 率 (%)		131%	84%	182%	81%	115%

※防火水槽の区分
 40 m³級未満＝20 m³以上
 40 m³級＝40 m³以上
 100 m³級＝100 m³以上

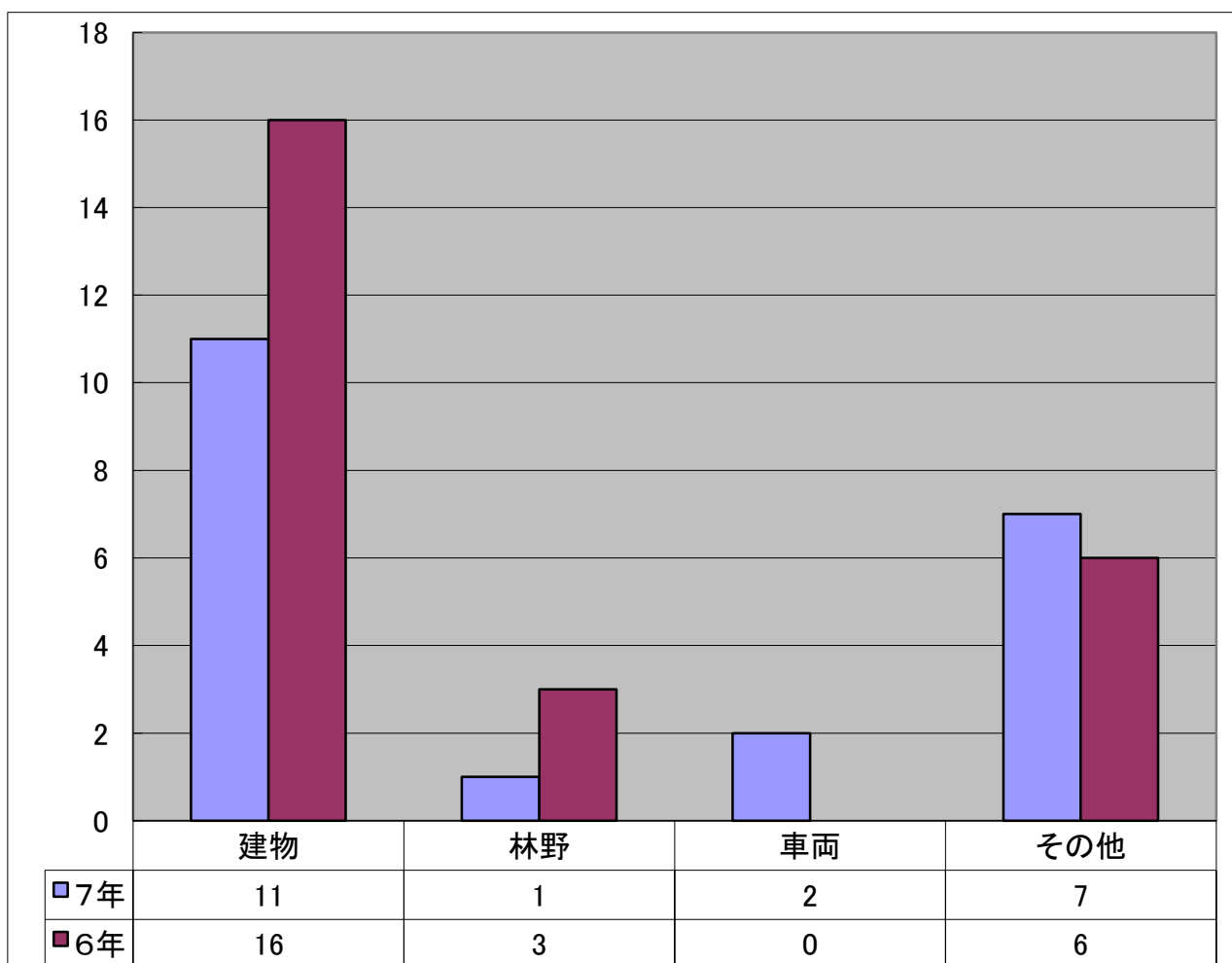
9 火 災

(1) 出火件数

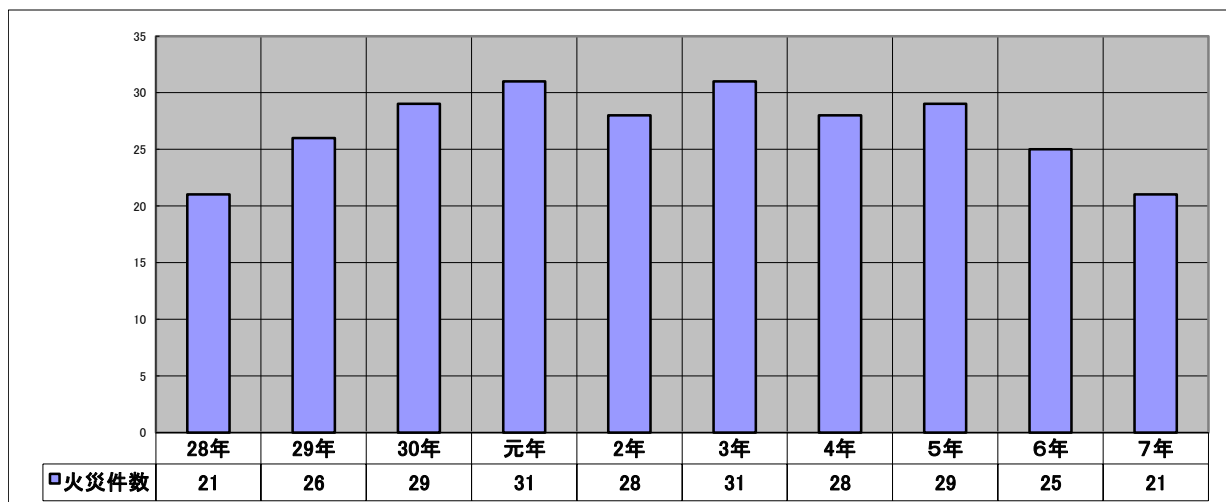
出火件数は、21件であり前年に比べ4件減少しています。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出火件数	7 年	6	3	8	4	21
	6 年	10	7	2	6	25
	増減	△ 4	△ 4	6	△ 2	△ 4
出火率 (%)	7 年	2.6	2.9	10.5	8.3	
	6 年	4.2	6.5	2.5	11.6	
	増減	△ 1.6	△ 3.6	8.0	△ 3.3	

火災種別ごとの出火件数は次のとおりです。



過去10年間の出火件数の推移は、次のとおりです。

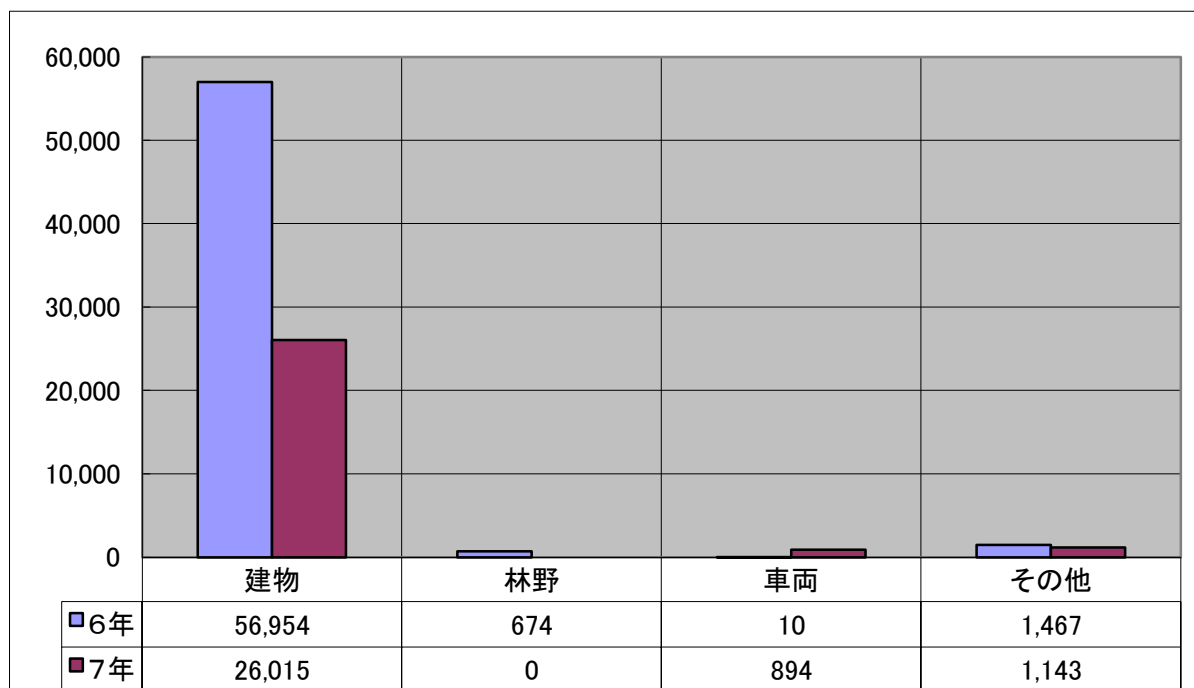


(2) 焼損面積及び損害額

建物火災の焼損面積は、1,322㎡であり、前年に比べ1,381㎡減少しています。
また、林野火災における焼損面積は6aであり、前年に比べ101a減少しています。

区 分	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
	建物火災 (㎡)	林野火災 (a)	
7 年	1,322	6	26,015
6 年	2,703	107	120,460
増 減	△ 1,381	△ 101	△ 94,445

損害額は、28,052千円であり、前年に比べ31,098千円減少しています。



(3) 死傷者

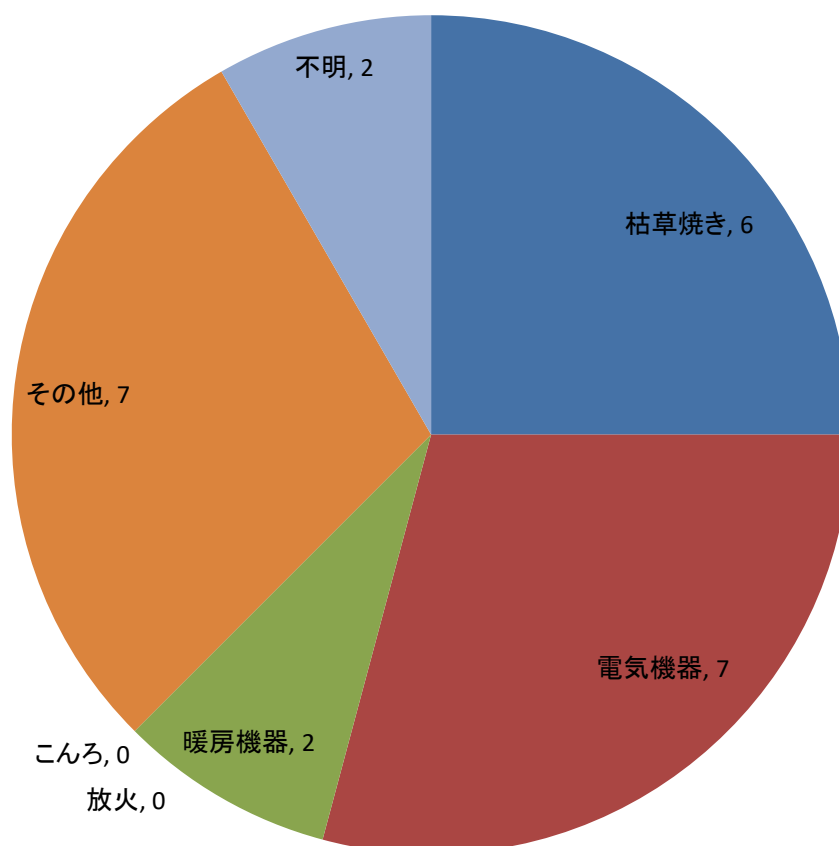
火災による死者は前年に比べると増減なし。
また、負傷者は前年に比べると4人減少しています。

区 分	死 者		負 傷 者
		うち65歳以上の高齢者	
7 年	1	1	0
6 年	1	1	4
増 減	0	0	△ 4

(4) 出火原因

火災の出火原因は、「枯草焼き」からの出火が6件で最も多く、次いで「電気機器」の順となっています。

出火原因別の件数と割合は、次のとおりです。



10 救 急

(1) 出動件数及び搬送人員

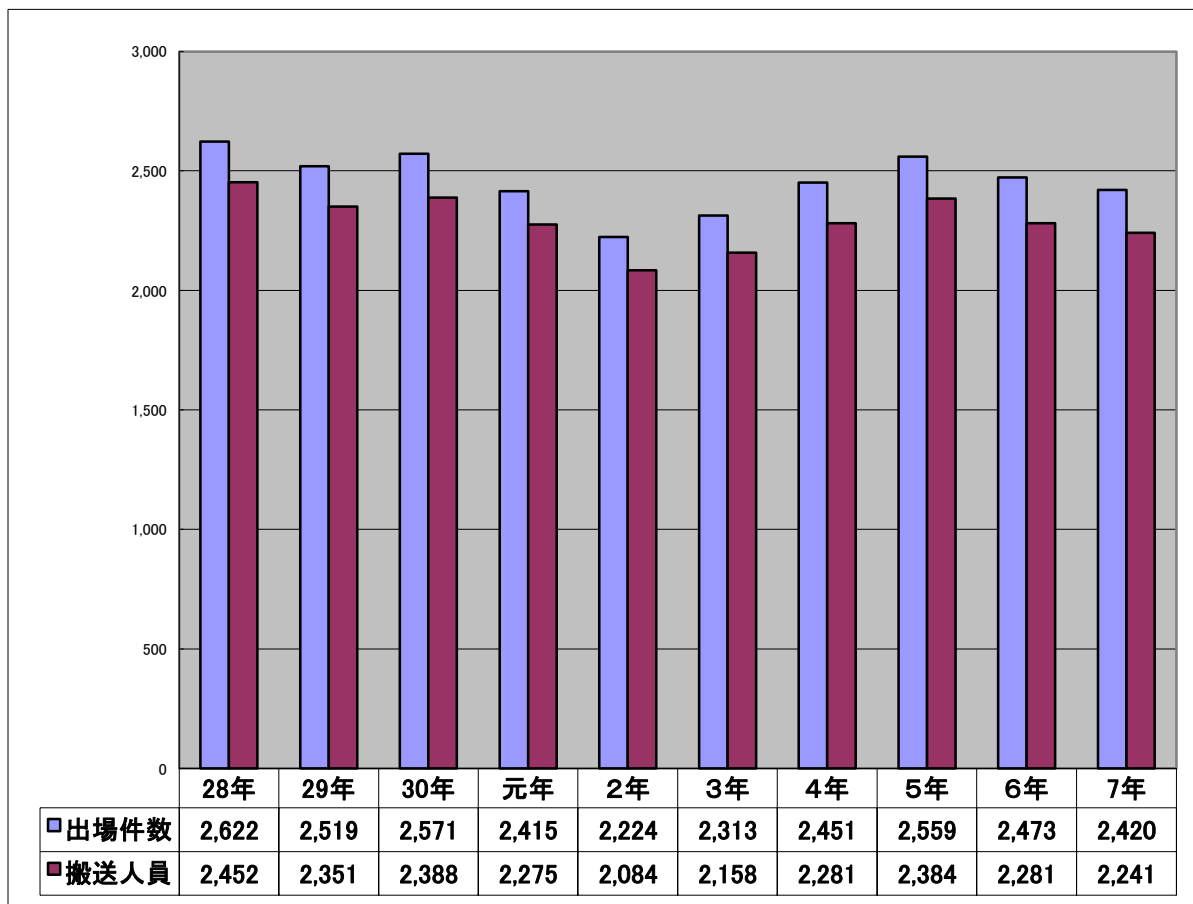
出動件数は2,420件であり、前年に比べ53件減少しています。

また、搬送人員は2,241人であり、前年に比べ40人減少しています。

市町村別の出動件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	高速道	管外	合 計
出動件数	7年	1,149	574	401	280	16	0	2,420
	6年	1,149	572	469	271	12	0	2,473
	増 減	0	2	△ 68	9	4	0	△ 53
搬送人員	7年	1,059	546	362	262	12	0	2,241
	6年	1,073	520	428	250	10	0	2,281
	増 減	△ 14	26	△ 66	12	2	0	△ 40

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

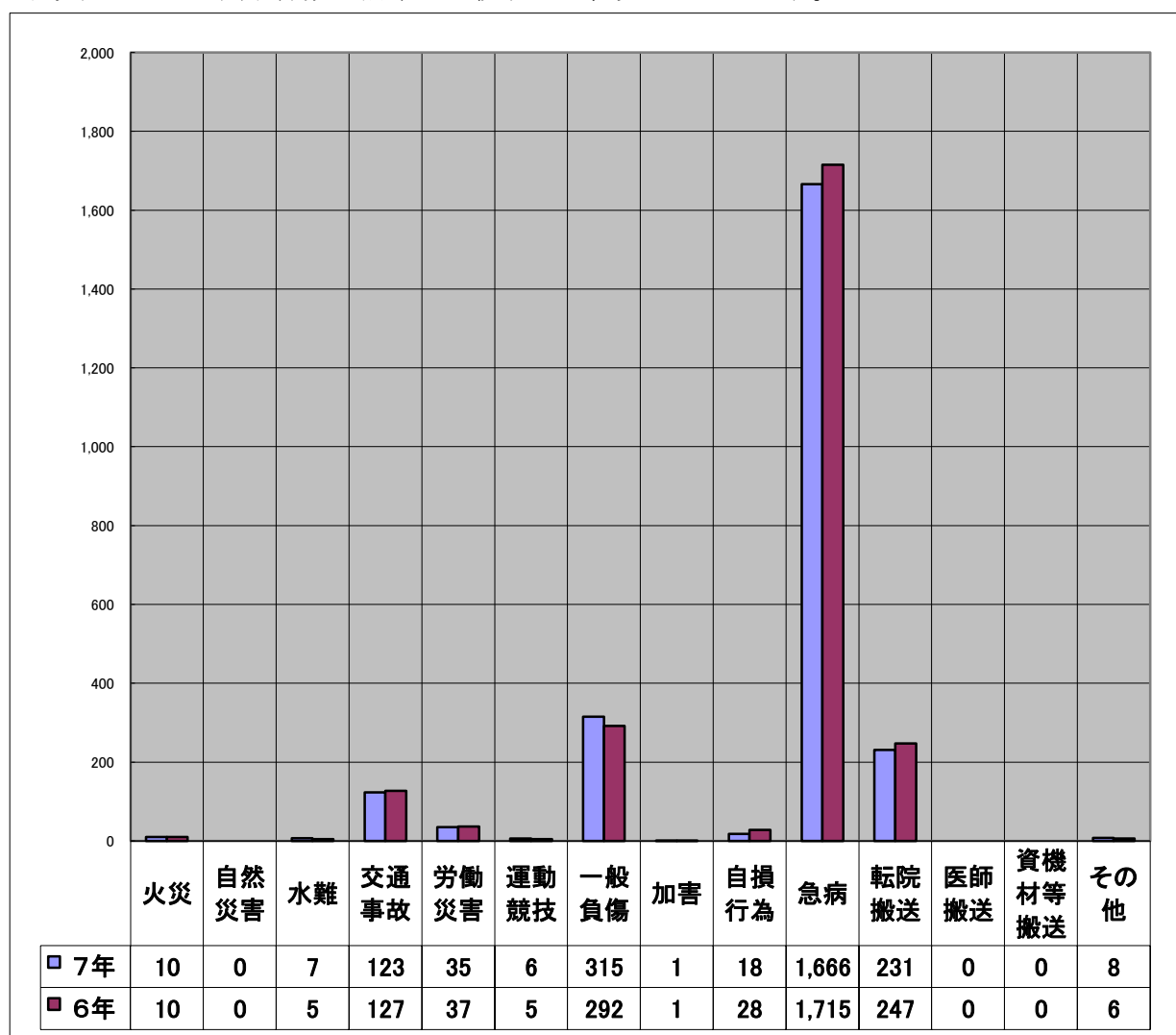


(2) 事故種別ごとの出動件数

事故種別ごとの出動件数は「急病」が1,666件（前年比 -49件）で最も多く、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
7年	10	0	7	123	35	6	315	1	18	1,666	231	0	0	8	2,420
6年	10	0	5	127	37	5	292	1	28	1,715	247	0	0	6	2,473
増減	0	0	2	△ 4	△ 2	1	23	0	△ 10	△ 49	△ 16	0	0	2	△ 53

事故種別ごとの出動件数を前年と比較すると、次のとおりです。

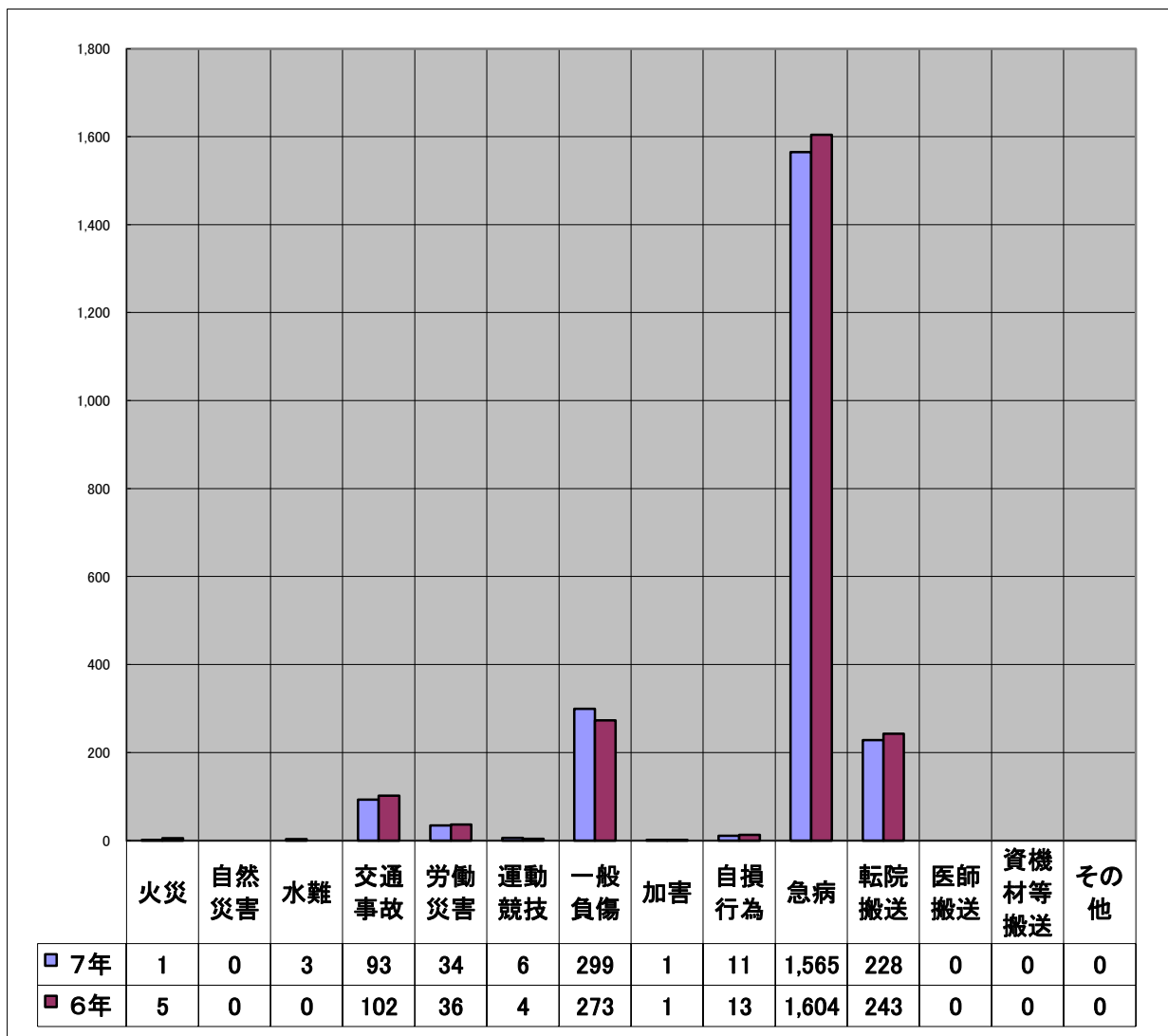


(3) 事故種別ごとの搬送人員

事故種別ごとの搬送人員は「急病」が1,565件（前年比 -39件）で最も多く、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
7年	1	0	3	93	34	6	299	1	11	1,565	228	0	0	0	2,241
6年	5	0	0	102	36	4	273	1	13	1,604	243	0	0	0	2,281
増減	△ 4	0	3	△ 9	△ 2	2	26	0	△ 2	△ 39	△ 15	0	0	0	△ 40

事故種別ごとの搬送人員を前年と比較すると、次のとおりです。

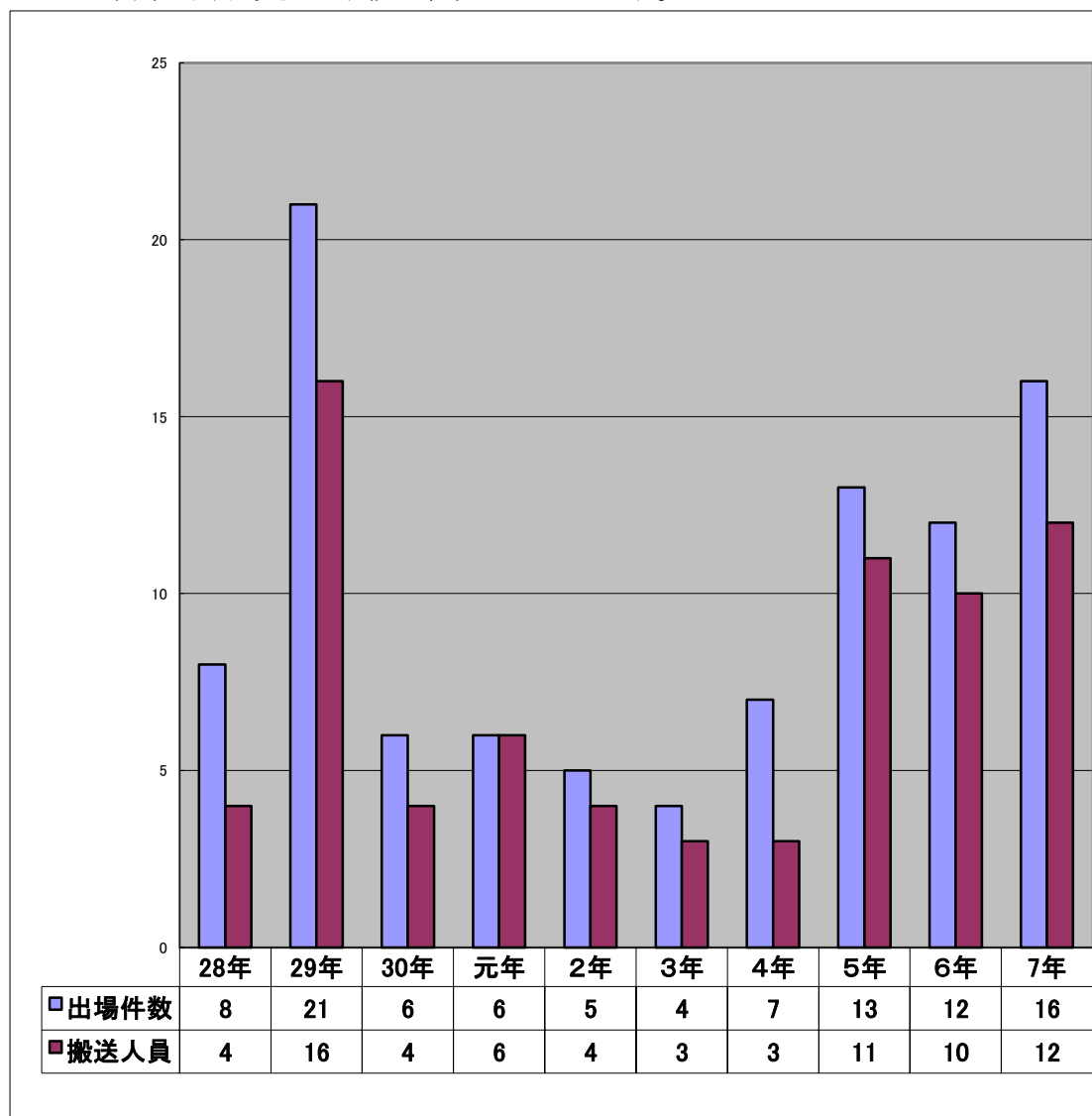


(4) 八戸自動車道における救急出動状況

八戸自動車道における救急出動件数は16件で、前年に比べ4件増加しています。
また、搬送人員は12人であり、前年に比べ2人増加しています。

	出動件数	搬送人員
令和7年	16	12
令和6年	12	10
増 減	4	2

過去10年間の出動状況の推移は、次のとおりです。



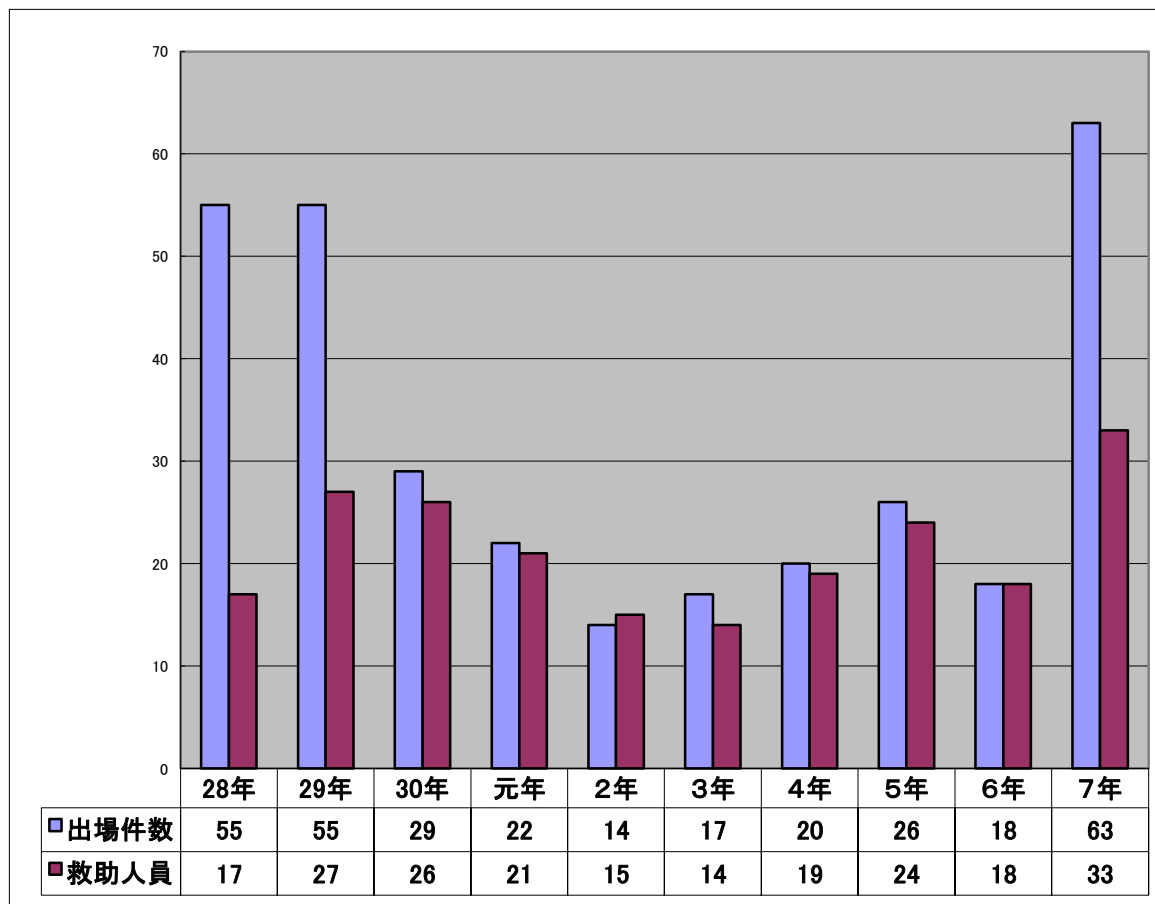
11 救 助

(1) 出動件数及び救助人員

出動件数は63件であり、前年に比べ45件増加しています。
 また、救助人員は33人であり、前年に比べ15人増加しました。
 市町村別の出動件数及び救助人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
出 場 件 数	7 年	33	11	13	6	63
	6 年	9	2	6	1	18
	増 減	24	9	7	5	45
救 助 人 員	7 年	19	6	6	2	33
	6 年	9	3	5	1	18
	増 減	10	3	1	1	15

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

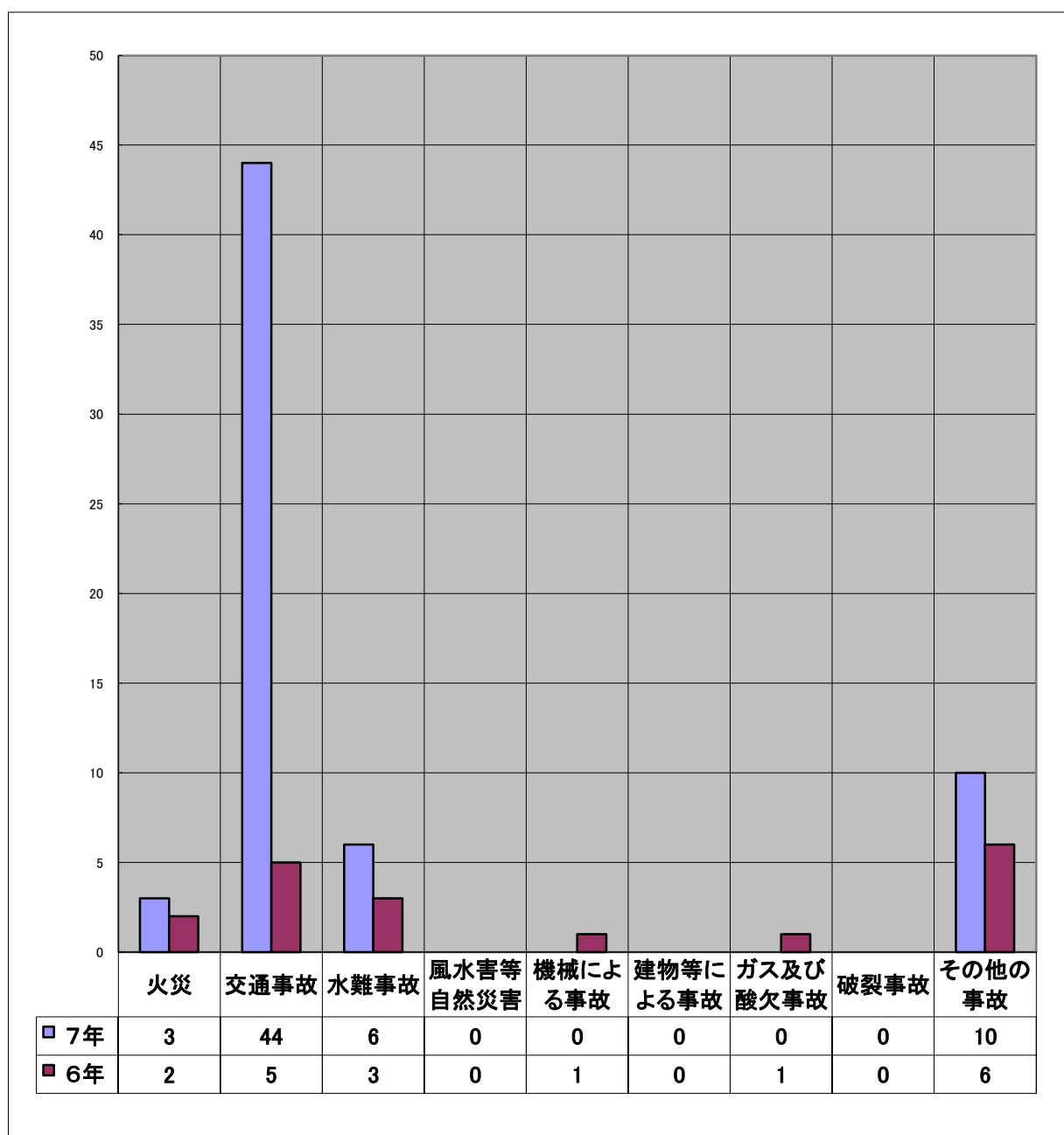


(2) 事故種別ごとの救助出動件数

事故種別ごとの出動件数は「交通事故」が44件で最も多く、次いで「その他の事故」、
「水難事故」の順となっています。

	火 災	交 通 故	水 難 故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破 裂 故	その他の事故	計
7 年	3	44	6	0	0	0	0	0	10	63
6 年	2	5	3	0	1	0	1	0	6	18
増減	1	39	3	0	△ 1	0	△ 1	0	4	45

事故種別ごとの出動件数を前年と比較すると、次のとおりです。

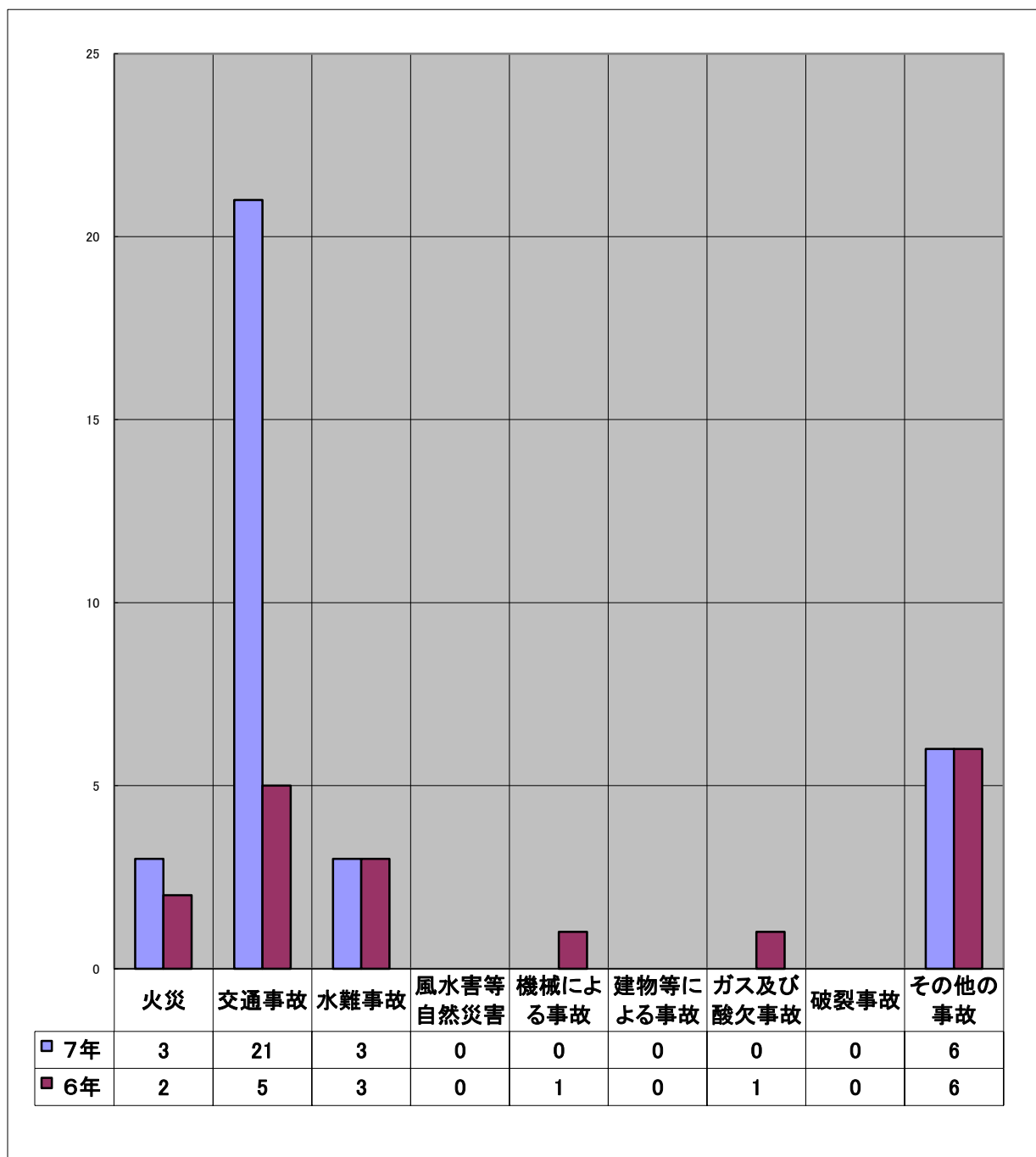


(3) 事故種別ごとの救助人員

事故種別ごとの救助人員は「交通事故」が21人で最も多く、次いで「その他の事故」、
「火災」、「水難事故」の順となっています。

	火 災	交 通 事 故	水 事 難 故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破 裂 事 故	その他の事故	計
7 年	3	21	3	0	0	0	0	0	6	33
6 年	2	5	3	0	1	0	1	0	6	18
増減	1	16	0	0	△ 1	0	△ 1	0	0	15

事故種別ごとの救助人員を前年と比較すると、次のとおりです。



資 料 編



【御所野遺跡・一戸町】

「御所野遺跡」は平成元年に調査が始まり、平成２０年からは北海道・北東北３県の縄文遺跡群構成資産の一つとして行政、町民が一体となって世界遺産登録を目指して取り組んでいましたが、令和３年７月２７日、第４４回世界遺産委員会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産一覧表への掲載が決定しました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道、青森県、秋田県、岩手県の４道県に点在する１７遺跡群で、縄文時代草創期から晩期の各時期の代表的な遺跡で構成されています。

「御所野遺跡」は縄文時代中期後半（５０００年前～４２００年前）の拠点集落跡で、縄文社会の移り変わりを解明するうえで非常に重要な位置づけとなっています。

令和 7 年度 中 の 主 要 行 事

月	日	行 事 内 容	開催場所等
4	1	辞令交付式及び管理者訓示	広域事務局及び消防本部
	4	救急救命東京研修所入所（2名）	救急救命東京研修所
		岩手県消防協会二戸地区支部総会	消防本部
	7	第71期消防職員初任教育課程入校式	岩手県消防学校
	1 1	二戸地区山火事防止宣伝パレード	二戸市
	1 4	令和7年度災害情報システム操作研修会	岩手県庁
		岩手県消防長会4月定例会	盛岡市
	2 5	全国消防長会東北支部総会	山形県山形市
	2 9	九戸村消防演習	九戸村
		三戸地区消防連絡協議会 観閲式	青森県田子町
	3 0	救急活動事後検証会	二戸病院
5	3	二戸市消防演習	二戸市
	1 1	一戸町消防演習	一戸町
	1 4	全国消防長会技術委員会	福岡県北九州市
	1 9	令和7年二戸地区広域行政事務組合議会 第1回臨時会	広域事務局
	2 1	情報開示制度研修会	消防本部
		二戸地区危険物安全協会理事会	消防本部
	2 7	八戸ドクヘリ/ドクターカー事例検討会	八戸市民病院
	2 8	令和7年度岩手県国民保護共同図上訓練視察	滝沢市
	2 4	全国消防長会	広島県広島市
6	3	ボート操船訓練	八戸市世増ダム
	5	令和7年度岩手県消防学校校友会役員総会	岩手県消防学校
	9	通常点検及び表彰伝達式（13日まで）	管内全域
		令和7年度第1回臨床研修管理委員会	二戸病院
	1 2	広域災害救急医療情報システム(EMIS)操作研修会	災害時地域医療支援教育センター
		救急活動事後検証会	二戸病院
	1 3	令和7年度岩手県危険物安全推進大会	盛岡市
		北東北3県ドクターヘリ合同事例検討会	八戸市民病院
	1 7	令和7年度第1回八戸赤十字病院地域医療支援委員会	八戸赤十字病院
	1 9	日本臨床救急医学会総会・学術集会	神奈川県横浜市
	2 2	東北救急医学会	秋田県秋田市
	2 3	ドクターカーV3展開訓練視察	おいらせ消防署
	2 4	令和7年度岩手県危険物安全協会連合会通常総会	盛岡市
	2 5	令和7年度カシオペア医療介護支援センター通常総会	二戸地区合同庁舎
	2 7	第48回 消防救助技術岩手県大会	岩手県消防学校
	3 0	令和7年度馬淵川水系水質汚濁対策連絡協議会幹事会	消防本部
7	2	安全運転管理者等講習会	二戸地区合同庁舎
	4	契約事務研修会	消防本部
	9	第1回二戸地域メディカルコントロール協議会	消防本部
	1 8	令和7年度予防技術講習会	東京都

月	日	行 事 内 容	開催場所等
7	1 8	二戸地区危険物安全協会定例総会	二戸市
	2 8	二戸警察署交通規制対策協議会	二戸警察署
	2 9	第53回 東北地区支部消防救助技術指導会	宮城県消防学校
	3 1	救急活動事後検証会	二戸病院
8	4	二戸地区公安系公務員合同説明会	二戸市
		令和7年二戸地区広域行政事務組合議会 第2回臨時会	広域事務局
	8	岩手県防災航空隊・二戸消防本部連携訓練	九戸村
	9	東北救急医学会	山形県山形市
	1 2	お盆特別警戒（16日まで）	管内全域
	2 2	岩手県違反是正推進連絡会・住警器対策連絡会	盛岡中央消防署
		安全運転講習会	消防本部
9	2	法制・広報研修会	盛岡市
		令和7年度第2回八戸赤十字病院地域医療支援委員会	八戸赤十字病院
	9	二戸救急車贈呈式	消防本部
	1 1	救急活動事後検証会	二戸病院
	1 2	アレルギー性疾患患者のためのアナフィラキシー対応講習会	国立病院機構盛岡医療センター
	1 4	軽米町消防演習	軽米町
	1 7	令和7年度第1回二戸圏地域医療連携会議及び二戸構想地域医療構想調整会議	二戸地区合同庁舎
		女性消防吏員意見交換会	消防本部
	3 0	第71期消防職員初任教育課程卒業式	岩手県消防学校
		救急救命東京研修所第68期研修生卒業式（2名）	救急救命東京研修所
1 0	7	岩手県消防長会10月定例会	奥州市
	1 0	令和7年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック訓練	山形県新庄市
	1 1	令和7年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック訓練	山形県新庄市
	1 6	林野火災予防に関する説明会	岩手県庁
	1 7	八戸ドクヘリ・ドクターカー事例検討会	八戸市立市民病院
	2 1	警防実務研究会	盛岡市
		令和7年度二戸地域自殺対策ネットワーク連絡会	二戸地区合同庁舎
	2 3	二戸地区防災・防犯・防衛講話	二戸市
	2 7	令和7年二戸地区広域行政事務組合議会 第2回定例会	広域事務局
	2 9	周産期医療分野におけるJoin導入に向けた担当者会議	消防本部
	3 0	令和7年度岩手県東北縦貫自動車道等における合同訓練	西根 I C
1 1	6	消防・救急緊急自動車運転技能者課程受講	茨城県ひたちなか市
	8	岩手県総合防災訓練	釜石市
	9	秋季全国火災予防運動（15日まで）	管内全域
	1 0	第3回院内感染防止対策地域連携会議	二戸病院
	1 2	二戸地域災害医療対策連絡会議	二戸地区合同庁舎
	1 8	令和7年度精神科救急情報センター地域連携研修会	盛岡市
		令和7年度新総合防災情報システム（SOBO-WEB）及びISUT活用研修	岩手県庁
	1 9	予防・広報講習会	新潟県三条市
	2 0	消防技術者会議	東京都三鷹市
	2 6	馬淵川水系水質情報想定通報演習	消防本部

月	日	行 事 内 容	開催場所等
1 2	2	消防職員意見発表会二戸地区選考会	二戸地区合同庁舎
		先進地共同運用指令センター視察研修	ちば消防共同指令センター
	4	八戸市民病院、久慈地域MC・二戸地域MC合同事例検討会	消防本部
	7	岩手県女性消防等指導者研修会	盛岡市
	1 1	令和7年度 全国消防救助シンポジウム	東京都
	1 5	令和7年度第2回二戸地域自殺対策ネットワーク連絡会	二戸地区合同庁舎
	1 6	令和7年度第3回八戸赤十字病院地域医療支援委員会	八戸赤十字病院
	1 8	令和7年二戸地区広域行政事務組合議会 第3回臨時会	広域事務局
	1 9	二戸保健医療圏域災害連絡訓練	消防本部
	2 4	消防本部人事担当者会議	消防本部
	2 9	年末年始特別警戒（1/3まで）	管内全域
1	3	二戸市消防出初式	二戸市
	4	一戸町消防出初式・軽米町消防出初式・九戸村消防出初式	各町村会場
	5	管理者年頭訓示	広域事務局
	1 3	二戸保健所運営協議会	二戸地区合同庁舎
	2 0	二戸市クマ出没対応連絡会議	二戸地区合同庁舎
	2 1	岩手県防災保安協会講演会	盛岡市
	2 2	二戸構想区域地域医療構想調整会議	二戸地区合同庁舎
	2 7	特定個人情報研修会	消防本部
2	6	令和7年度女性消防吏員研修会	岩手県消防学校
		火災予防ポスターコンクール審査会	消防本部
	9	令和7年度岩手県ドクターヘリ運航調整委員会及び事例検討会	岩手医大矢巾キャンパス
		令和7年度県北地域精神科救急医療体制連絡調整協議会	二戸地区合同庁舎
	1 3	第2回北東北3県ドクターヘリ合同事例検討会及び見学会	岩手医科大学
	1 6	第49回岩手県消防職員意見発表会	盛岡市
	1 8	二戸地区山火事防止対策協議会会議	二戸地区合同庁舎
	1 9	八戸ドクヘリ・ドクターカー事例検討会	八戸市民病院
	2 0	令和7年度第3回二戸地域自殺対策ネットワーク連絡会	二戸地区合同庁舎
	2 6	令和8年二戸地区広域行政事務組合 第1回定例会	広域事務局
3	1	春季全国火災予防運動（7日まで）	管内全域
	4	第2回二戸地域メディカルコントロール協議会	消防本部
	9	令和7年度二戸地域自殺対策推進協議会	二戸地区合同庁舎
	1 0	令和7年度第4回八戸赤十字病院地域医療支援委員会	八戸赤十字病院
	1 2	令和7年度第3回臨床研修管理委員会	二戸病院
	1 4	第7回通信指令シンポジウム	東京都
	1 6	久慈広域連合・二戸地区広域行政事務組合消防相互応援協定締結式	消防本部
	1 9	令和7年度岩手県消防表彰式	盛岡市
	3 1	退職者辞令交付式	消防本部

< 総 務 >

職 員 数

令和7年4月1日現在の職員数は次のとおりです。

定 数	職 員 数（うち再任用職員）
127人	117人（1人）

* 職員の採用状況

令和8年4月1日付 2名採用

研 修 ・ 資 格 講 習 派 遣

令和7年度研修・資格講習派遣計画に基づき実施した受講者数は次のとおりです。

研 修 区 分		修了者	研 修 区 分		修了者
岩 手 県 消 防 学 校	初 任 教 育	3	救 命 士	新規養成研修（東京研修所）	2
	上 級 幹 部 科	2		指導救命士講習（九州研修所）	—
	初 ・ 中 級 幹 部 科	3	資 格 系	小型車両系建設機械運転	3
	警 防 科	2		玉 掛 け 技 能 講 習	2
	救 助 科	2		小型移動式クレーン講習	2
	救 急 科	4		二級小型船舶操縦士	2
	予 防 総 合 科	—		消防・救急緊急自動車運転技能者	1
	火 災 調 査 科	2		安全衛生推進者養成講習	—
	—	—		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任講習	2
消 防 大 学 校	幹 部 科	1		冬 道 安 全 講 習	4
	—	—		二等無人航空機操縦士技能証明	2
	—	—		大 型 自 動 車 第 1 種	4

※ 「—」は該当なし。

表 彰 受 章 者

令和7年度消防関係表彰受章状況は次のとおりです。

表 彰 区 分			受章(賞)者
消 防 庁 長 官 表 彰	永 年 勤 続 功 労 章		1
岩 手 県 知 事 表 彰	功 績 章		2
組 合 管 理 者 表 彰	功 労 章		4
全 国 消 防 長 会	永年勤続功労者表彰	30年	4
全国消防長会東北支部	永年勤続功労者表彰	20年	2
(公財)岩手県消防協会	功 労 章		1
	功 績 章		2
	内 助 功 労 賞		1 (令夫人)
(公財)日本消防協会	勤 続 章		3
(一財)全国消防協会	全国優良消防職員表彰		1

消 防 職 員 の 配 置 状 況

令和7年4月1日現在

所 属	階 級	合 計	消	消	消	消	消	消	消	そ の 他 の 職 員
			防 監	防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士	
合 計		117	1	3	17	22	32	17	25	
消 防 本 部		18 (5)	1	2	5	4 (3)	6 (1)	0 (1)	0	
二 戸 消 防 署		33		1	5	7	7	4	9	
	一戸分署	19			2	3	5	3	6	
	軽米分署	16			2	3	5	2	4	
	浄法寺分署	15			1	3	4	3	4	
	九戸分署	16			2	2	5	4	3	

※ () 内は署兼務者数

階 級 ・ 年 齢 別 職 員 数

令和7年4月1日現在

階級別 年齢別	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合 計
21歳未満							8	8
21歳～25歳							12	12
26歳～30歳						10	5	15
31歳～35歳					18	7		25
36歳～40歳					10			10
41歳～45歳				6	3			9
46歳～50歳				16				16
51歳～55歳		1	13					14
56歳以上	1	2	4		1(1)			8
人 員	1	3	17	22	32	17	25	117

() 内は再任用職員

在 職 年 数 別 消 防 職 員 数

令和7年4月1日現在

区 分	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
5年未満							18	18
5年～9年						8	6	14
10年～14年					13	9	1	23
15年～19年					13			13
20年～24年				2	5			7
25年～29年				14				14
30年～34年		1	8	6				15
35年以上	1	2	9		1(1)			13
合 計	1	3	17	22	32	17	25	117

() 内は再任用職員

職員の資格取得状況

令和7年4月1日現在

署分署別 免許等の区分			消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署	計
運転免許・整備	大型免許		17	24	13	12	11	13	90
	中型免許			2		1			3
	準中型免許			1	2	1	1	2	7
	大型特殊免許		5	7	3	2	1	2	20
	けん引免許		1		1				2
	自動二輪		2	7	3	3	3	1	19
	小型車両系建設機械技能講習		9	13	2	2	3	4	33
	自動車整備士	2級		1					1
予防・危険物	消防設備士	乙4類				1			1
		乙6類	2	1	1	1			5
	危険物取扱者	乙1類		1	1				2
		乙2類		2	1				3
		乙3類		2	1	1			4
		乙4類	7	10	6	7	4	5	39
		乙5類		1		1			2
		乙6類		2	1				3
		丙種		4			1		5
	予防技術資格者	査察	4	10	2	3	4	6	29
		設備等	2	7	1	1	2	3	16
		危険物	3	5	1	3	2	1	15
無線	陸上特殊無線技士	2級	12	10	3	3	2	4	34
		3級	5	22	15	13	12	12	79
救急・救助	救急救命士(うち指導救命士)		6(2)	8(1)	7(1)	7(1)	6	6	40(6)
	救急隊員資格者		12	20	9	7	8	8	64
	墜落制止用器具特別教育		15	27	16	14	13	13	98
	玉掛技能		12	15	6	4	4	5	46
	移動式クレーン		11	15	6	4	4	5	45
	小型船舶操縦士		7	7	6	2	1	2	25
	特定化学物質作業主任者			1	2	1	1		5
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		5	6	5	4	1	1	22
	ガス・電気溶接		1	3		1			5
	着衣泳指導員					1			1
その他	安全衛生推進者		2	2	2	1		1	8
	甲種火薬類取扱保安責任者						1		1
	テールゲートリフター操作特別教育				2	7	1	6	16

< 予 防 >

防火対象物の状況

令和8年3月31日現在

署分署別 防火対象物の区分			二 消 防 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 署	九 戸 分 署	合 計
1	イ	劇場・映画館等	2	2	1		1	6
	ロ	公会堂・集会場	10	4	4	6	3	27
2	イ	キャバレー等						0
	ロ	遊技場等	3					3
	ハ	風俗営業等						0
	ニ	カラオケボックス等	1					1
3	イ	待合・料理店等						0
	ロ	飲食店	13	7	2		4	26
4		百貨店等	49	15	9	9	8	90
5	イ	旅館・ホテル等	17	3	3	3	1	27
	ロ	共同住宅等	167	63	16	1	8	255
6	イ	病院・診療所等	14	5	4	2		25
	ロ	養護老人ホーム等	21	19	5	4	5	54
	ハ	デイサービス等	28	28	8	7	4	75
	ニ	幼稚園等	2	5				7
7		学校等	44	34	17	4	10	109
8		図書館・博物館等	5	2	3	1	1	12
9	イ	蒸気・熱気浴場等						0
	ロ	イ以外の公衆浴場		3			1	4
10		車両の停車場	3	1				4
11		神社・寺院・教会	20	3	9	2	7	41
12	イ	工場・作業場	123	77	44	38	50	332
	ロ	テレビスタジオ等						0
13	イ	車庫・駐車場	9	18	8	4	7	46
	ロ	飛行機等格納庫						0
14		倉庫	102	81	47	39	35	304
15		前各項に該当しない事業場	397	442	475	181	560	2,055
16	イ	複合用途（特定）	65	30	17	6	16	134
	ロ	複合用途（非特定）	51	16	15	7	7	96
16の2		地下街						0
16の3		準地下街						0
17		重要文化財等	2	2	2	2		8
18		アーケード						0
合 計			1,148	860	689	316	728	3,741

署分署別建築同意状況

令和8年3月31日現在

署分署別 防火対象物の区分			計	二 消 防 署	一戸分署	軽米分署	浄 法 寺 署	九戸分署
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	0	0	0	0	0	0
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1	1	0	0	0	0
2	イ	キ ャ バ レ ー 等	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊 技 場 等	0	0	0	0	0	0
	ハ	風 俗 営 業 等	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲 食 店	0	0	0	0	0	0
4		百 貨 店 等	3	2	0	0	0	1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	0	0	0	0	0	0
	ロ	共 同 住 宅 等	1	1	0	0	0	0
6	イ	病院・診療所等	0	0	0	0	0	0
	ロ	養護老人ホーム等	0	0	0	0	0	0
	ハ	デイサービス等	2	2	0	0	0	0
	ニ	幼 稚 園 等	1	0	1	0	0	0
7		学 校 等	0	0	0	0	0	0
8		図 書 館 ・ 博 物 館 等	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0
10		車 両 の 停 車 場	2	0	0	0	1	1
11		神社・寺院・教会	1	1	0	0	0	0
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	2	1	0	0	0	1
	ロ	テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛 行 機 等 格 納 庫	0	0	0	0	0	0
14		倉 庫	2	0	2	0	0	0
15		前各項に該当しない事業場	15	2	1	9	2	1
16	イ	複合用途（特定）	0	0	0	0	0	0
	ロ	複合用途（非特定）	1	1	0	0	0	0
16の2		地 下 街	0	0	0	0	0	0
16の3		準 地 下 街	0	0	0	0	0	0
17		重 要 文 化 財 等	0	0	0	0	0	0
18		ア ー ケ ー ド	0	0	0	0	0	0
計			31	11	4	9	3	4
建築種別		新 築	28	8	4	9	3	4
		増 築	1	1	0	0	0	0
		改 築	0	0	0	0	0	0
		その他	7	3	0	2	1	1

中高層建築物の状況

令和8年3月31日

防火対象物の区分			計	階 数 別					
				3階	4階	5階	6階	7階	8階
1	イ	劇場・映画館等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	3	2	1	0	0	0	0
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場等	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	風俗営業等	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	2	2	0	0	0	0	0
4		百貨店等	2	2	0	0	0	0	0
5	イ	旅館・ホテル等	3	0	0	2	1	0	0
	ロ	共同住宅等	53	36	10	6	0	1	0
6	イ	病院・診療所等	3	0	2	1	0	0	0
	ロ	養護老人ホーム等	8	7	1	0	0	0	0
	ハ	デイサービス等	2	1	1	0	0	0	0
	ニ	幼稚園等	0	0	0	0	0	0	0
7		学校等	24	21	3	0	0	0	0
8		図書館・博物館等	2	2	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	1	1	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会	0	0	0	0	0	0	0
12	イ	工場・作業場	13	9	4	0	0	0	0
	ロ	テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	3	3	0	0	0	0	0
15		前各項に該当しない事業場	38	23	11	3	0	0	1
16	イ	複合用途（特定）	23	20	0	2	1	0	0
	ロ	複合用途（非特定）	12	12	0	0	0	0	0
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
17		重要文化財等	0	0	0	0	0	0	0
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
合 計			192	141	33	14	2	1	1

市町村別	二	戸 市	129	90	25	11	1	1	1
	一	戸 町	35	29	2	3	1	0	0
	軽	米 町	18	14	4	0	0	0	0
	九	戸 村	10	8	2	0	0	0	0

消防用設備等（特殊消防用設備等）の設置届出状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

種 別 区 分			通常用いられる消防用設備等																	必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等		合 計						
			消防の用に供する設備										消火活動上必要な施設															
			消 火 設 備					警 報 設 備			避難設備		消 防 活 動 上 必 要 な 施 設															
			消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備	泡消火設備	不活性ガス消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	ガス漏れ火災警報器	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水設備	排烟設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備	無線通信補助設備			
			小計	パッケージ型自動消火設備	小計																							
1	イ	劇場・映画館・観覧場等									1														1			1
	ロ	公会堂・集会場	2														2								4			4
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等																										
	ロ	遊技場又はダンスホール																										
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																										
	ニ	カラオケボックス等																										
3	イ	待合・料理店等																										
	ロ	飲食店																										
4		百貨店、マーケット等	9								4						3								16			16
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	6														1								7			7
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2																						2			2
6	イ	病院	2	1							1						2								6			6
	ロ	養護老人ホーム等	4								1			3			2								10			10
	ハ	デ イ サ ー ビ ス	7								2						5								14			14
	ニ	幼 稚 園	2	1							3				2	1	2								11			11
7		小学校、中学校、高校、大学等	1								1						1								3			3
8		図 書 館 ・ 博 物 館 等	2																						2			2
9	イ	蒸気・熱気浴場等																										
	ロ	イ以外の公衆浴場																										
10		車 両 の 停 車 場	2														1								3			3
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会																										
12	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	22								13				1		7								43			43
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																										
13	イ	自動車車庫・駐車場等																										
	ロ	飛行機等格納庫																										
14		倉 庫	14								1				1		2								18			18
15		前各項に該当しない事務場	63								1	2			1		10								77			77
16	イ	複合用途（特定）	3								1						4								8			8
	ロ	複合用途（非特定）	4														3								7			7
16の2		地 下 街																										
16の3		準 地 下 街																										
17		重 要 文 化 財 等									2														2			2
18		ア ー ケ ー ド																										
計			145	1	1						1	32			3	5	1	45							234			234

防火対象物定期点検報告制度の状況

令和8年3月31日現在

区 分		市町村別	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
該当防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)		28	14	6	2	50
	特定一階段該当		1				1
	合 計		29	14	6	2	51
点検報告済防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)		20	11	4	2	37
	特定一階段該当		1				1
	合 計		21	11	4	2	38
特例認定済防火対象物	収容人員該当 (特定300人)		4		1		5
	特定一階段該当						0
	合 計		4	0	1	0	5

危険物施設の状況

令和8年 3月31日現在

区 分 市町村別		二 戸 市	一 戸 町	軽 米 町	九 戸 村	合 計
		140	77	53	43	313
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	0	3		2	5
	屋 外 タンク貯 蔵 所	8	4	4	5	21
	屋 内 タンク貯 蔵 所	1	1		1	3
	地 下 タンク貯 蔵 所	47	25	13	7	92
	簡 易 タンク貯 蔵 所					
	移 動 タンク貯 蔵 所	36	22	14	11	83
	屋 外 貯 蔵 所	1	1			2
	小 計	93	56	31	26	206
取 扱 所	給 油 取 扱 所 (自 家 用)	30 (13)	13 (4)	16 (6)	6 (1)	65 (24)
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	17	8	6	11	42
	小 計	47	21	22	17	107

自主防災組織の状況

令和8年3月31日現在

市町村別 区分		二戸市		一戸町		軽米町		九戸村		計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
幼年消防クラブ	幼稚園									0	0
	保育園	1	47			1	25	1	46	3	118
	児童館									0	0
	その他	1	110	3	119			1	22	5	251
	小計	2	157	3	119	1	25	2	68	8	369
少年消防クラブ	小学校	1	21	2	21			1	12	4	54
	中学校									0	0
	地区単位					1	6			1	6
	その他									0	0
	小計	1	21	2	21	1	6	1	12	5	60
婦人防火クラブ	市街地	2	62							2	62
	農山村地域	4	137			29	528	3	36	36	701
	その他									0	0
	小計	6	199	0	0	29	528	3	36	38	763
自主防災組織	町内会 自治会	42	8,701	29	5,300	48	2,232	3	36	122	16,269
	その他									0	0
	小計	42	8,701	29	5,300	48	2,232	3	36	122	16,269
合 計		51	9,078	34	5,440	79	2,791	9	152	173	17,461

< 警 防 >

通 信 施 設 等 の 状 況

令和8年4月1日現在

通 信 施 設 等 名				設 置 場 所						計
消 防 救 急 業 務 用 無 線 局	デ ジ タ ル 無 線	固 定 局 （ 多 重 ）		消防本部、折爪						2
		基 地 局	基 地 局	消防本部、折爪						2
			簡 易 基 地 局	奥中山						1
				消 防 本 部	二 戸 消 防 署	一 戸 分 署	軽 米 分 署	浄 法 寺 分 署	九 戸 分 署	計
		移 動 局	車 載 型	10	5	4	3	3	3	28
			卓 上 型	1	1	1	1	1	1	6
			可 搬 型	1	2	1	1	1	1	7
			携 帯 型	3	9	7	6	6	6	37
		受 令 機		3		2				5
	署 活 動 系（400MHZ 帯）		16	33	19	16	15	16	115	
防 災 相 互 波（400MHZ 帯）		10						10		
市 防 無	町 災 行	村 政 線	放 送 設 備 （サイレン吹鳴可）		1	1	1		1	4
電 一 般 加 話 入	電 話 回 線 数		16	9	6	6	6	6	49	
	うち FAX 回 線		4	1	1	1	1	1	9	
	庁 舎 内 線 数		31	29	9	9	9	9	96	
電 携 話 帯	携 帯 電 話 回 線 数		2	5	3	2	2	2	16	
	うち 車 載 携 帯 電 話			4	3	2	2	2	13	
衛 星 電 携 話 帯	衛 星 携 帯 電 話 数		1	2	3	3	3	3	15	
	うち 車 載 携 帯 電 話			2	2	2	2	2	10	
庁 内 放 送 装 置				1		1	1	1	1	5

消防車両等の保有状況

令和8年4月1日現在

	車 両 名	車 名	登録年月	定員	艀装業者名	備 考
消防本部	指揮車(無線中継車)	トヨタ ハイエース	H27. 8	5	オートワークス 京都	4WD
	救 助 工 作 車	日野 レンジャー	H25.12	6	テイセン	Ⅱ型 4WD
	屈 折 梯 子 車	日野 プロフィア	R 5. 9	6	モリタ	先端屈折式 25m級
	大 型 水 槽 車	日野 プロフィア	H30. 3	3	日本機械	積載水10,000ℓ ポンプ付 後輪2軸駆動
	人 員 輸 送 車	トヨタ ハイエース	H24.12	14		乗車定員14人
	資 機 材 搬 送 車 1	日野 デュトロ	R 7. 2	2	モリタ	4WD、パワーゲート
	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	R 6.11	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2
	非常用救急自動車	トヨタ ハイエース	H28. 1	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	救急普及啓発広報車	日産 キャラバン	R 5.11	4		4WD 救急振興財団寄贈
	連 絡 車 1	スバル XV	R 1. 6	5		
	連 絡 車 2	ホンダ バモスホビオ	H28. 1	4		
二戸消防署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H25. 3	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野 デュトロ	H31. 2	5	日本機械	積載水800ℓ 4WD ホースカー付
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	R 7. 7	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	資 機 材 搬 送 車 2	トヨタ ハイエース	H19.11	6		4WD
	広 報 車	トヨタ ランドクルーザー	R 1. 9	5		4WD
一戸分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	R 1.12	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野 デュトロ	R 6.10	6	長野ポンプ	4WD
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	R 6. 2	7	トヨタ テクノクラクト	4WD 緊急消防援助隊登録車両
	広 報 車	日産 エクストレイル	H19. 9	5		4WD
軽米分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H25.11	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	R 8. 1	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	広 報 車	三菱 デリカD:5	R 6. 2	5		4WD
浄法寺分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H28.11	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	R 6.12	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	広 報 車	日産 エクストレイル	H21. 8	5		4WD
九戸分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 レンジャー	H28. 2	6	日本機械	積載水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	トヨタ ハイエース	H28. 9	7	トヨタ テクノクラクト	4WD
	広 報 車	トヨタ ランドクルーザー	H29.11	5		4WD

火 災 に よ る 損 害 状 況

令和7年中

区 分 市町村	出火件数		焼損面積		損害額（建物）			損害額（林野）
	件 数	出火率	建物焼損 床 面 積	林野焼損 面 積	総額 （千円）	一件当り （千円）	1世帯当 り（円）	総額 （千円）
令和7年	21	4.5	1,316	6	26,015	1,238.8	1,141.0	0
二戸市	6	2.5	357	6	8,006	1,334.3	689.1	0
一戸町	3	2.9	10	0	316	105.3	58.7	0
軽米町	4	5.1	497	0	8,870	2,217.5	2,442.2	0
九戸村	8	15.9	451	0	8,823	1,102.9	4,064.0	0
令和6年	25	6.0	2,704	107	11,837	4,753.5	5,165.0	674
令和5年	29	5.5	854	8	21,832	752.8	949.9	0
令和4年	28	6.0	1,618	236	49,381	1,763.6	2,134.5	4,610
令和3年	31	5.3	2,595	0	91,828	2,962.2	3,923.8	0
令和2年	28	5.7	934	1	24,715	882.7	1,056.5	0
令和元年	31	5.4	1,388	88	26,312	848.8	1,120.1	0
平成30年	29	4.8	6,627	412	267,334	9,218.4	11,455.9	2,068
平成29年	26	3.8	1,473	21	78,468	2,545.1	2,385.7	86
平成28年	21	8.1	1,161	90	18,898	1,889.8	808.5	2,694
年 平 均	26.9	5.5	2,067.0	96.9	61,662	3,037.7	2,479.8	1,013.2

災 害 通 報 等 受 付 件 数

令和7年中

内 訳 覚知別	火災	救急	救助	その他災害	誤報	通報訓練	その他	計
119番専用電話（固定）	3	1,355	26	64	76	102	242	1,868
119番専用電話（携帯）	11	792	58	19	97	3	168	1,148
一般加入電話	3	67	6	19	0	0	0	95
警察電話	0	8	6	2	0	0	0	16
駆けつけ通報	2	23	0	2	3	0	49	79
事後覚知	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	6	7	34	0	1	9	58
計	20	2,251	103	140	176	106	468	3,264

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。

時 間 別 火 災 発 生 状 況

令和7年中

	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	計
0～2	0	1	0	0	1
2～4	0	0	0	0	0
4～6	1	0	1	0	2
6～8	1	0	1	0	2
8～10	1	1	2	1	5
10～12	2	0	2	0	4
12～14	0	0	1	1	2
14～16	0	0	1	2	3
16～18	0	0	0	0	0
18～20	0	0	0	0	0
20～22	1	1	0	0	2
22～24	0	0	0	0	0
不 明	0	0	0	0	0
計	6	3	8	4	21

曜 日 別 火 災 発 生 状 況

令和7年中

	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	計
月 曜 日	0	0	1	2	3
火 曜 日	3	0	0	1	4
水 曜 日	0	0	3	0	3
木 曜 日	1	0	1	0	2
金 曜 日	2	1	1	1	5
土 曜 日	0	0	2	0	2
日 曜 日	0	2	0	0	2
計	6	3	8	4	21

焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況(過去10年間)

平成27年～令和 7 年

年別	出火日時	出火場所	出火建物 用 途	出 火 原 因	焼損 棟数	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
令和 7 年	11月17日 15時45分	九戸村	養鶏舎	屋内配線のスパーク	2	497	8812
令和 6 年	1 月 4 日 6 時30分	二戸市	住 宅	掘りごたつの炭火が跳ねたもの。	1	302	9608
	5 月 1 日 7 時15分	二戸市 (浄法寺)	工 場	延長コードが短絡したもの。	3	308	40897
	6 月22日 15時45分	二戸市	車庫兼倉庫	不明	8	368	16396
	6 月27日 11時30分	九戸村	鶏糞処理施設	高温のガラ堆積物が移動したことにより出火。	2	317	5445
	7 月30日 1時00分	九戸村	作 業 場	差し込みプラグのトラッキングによるスパーク。	4	539	30930
令和 5 年	該当火災なし						
令和 4 年	該当火災なし						
令和 3 年	1月22日 2時00分	二戸市 (浄法寺町)	住 宅	不明	5	373	5,438
	6月13日 21時05分	二戸市	住 宅	不明	9	736	18,442
	8月19日 19時51分	二戸市 (浄法寺町)	工 場	屋内配線の短絡により生じたスパークが内壁の木ずりに落下したことにより出火したものと推定。	3	494	46,612
令和 2 年	7月3日 7時10分	一戸町	一般倉庫	不明	2	423	7,172
令和 元年	3月10日 1時30分	九戸村	住 宅	反射式ストーブに、付近にあった紙製の可燃物が落下または移動して接触したことにより出火したものと推定。	4	340	10,255
	5月23日 10時20分	二戸市 (浄法寺町)	住 宅	不明	4	331	1,632
	11月22日 9時00分	一戸町	住 宅	煙突から火の粉が藁に飛び火し着火したものと推定。	5	414	3,669
平成 30年	1月23日 3時40分	一戸町	納 屋	木箱の中で燐炭が再燃し着火。そこから建物へ延焼拡大したものと推定。	5	397	3,607
	6月26日 13時20分	二戸市	物 置	木の枝などのゴミを焼却中に、行為者がその場を離れたうちに延焼拡大したものと推定。	7	730	8,573
	7月3日 15時40分	二戸市	住 宅	配線器具の短絡によって生じた銅粒状の短絡痕が段ボール箱に落下することで着火。そこから周囲の可燃物へ延焼拡大したもの。	5	458	7,467
	7月7日 14時00分	軽米町	住 宅	取灰の余熱で周囲の可燃物に着火し、その炎が延焼拡大したもの。	2	602	18,770
	7月16日 1時30分	九戸村	住 宅	使用したマッチを完全に消火しないで捨てたため、周囲にあった燃焼物へ着火し、また扇風機の風の力を受け延焼拡大したもの。	1	336	11,511
	10月5日 15時15分	九戸村	養鶏舎	絶縁性能が低下した配線が異極間で短絡、付近のほこりや壁面の柱に着火し、延焼拡大したものと推定。	1	513	5,136
平成 29年	4月2日 17時30分	一戸町	住 宅	仏壇供養の際に使用した、ロウソクの炎が不祝儀袋等に着火し、建物全体へ延焼拡大したもの。	3	340	21,589
平成 28年	1月12日 15時55分	一戸町	養畜舎	ガストーブが建物北側に倒れ、炎が扉に着火。扉に着火した炎が延焼拡大したもの。	1	497	6,655
平成 27年	3月13日 6時15分	軽米町	養畜舎	不明	2	1,064	102,676
	5月8日 15時20分	軽米町	物 置	建物の所有者が自ら施工した屋外配線が経年劣化により短絡し、それによって生じた火花から出火及び延焼拡大したもの。	5	500	3,202
	6月25日 23時20分	九戸村	店舗併用 住 宅	不明	2	461	66,049

過去の林野火災（焼損面積100a以上）

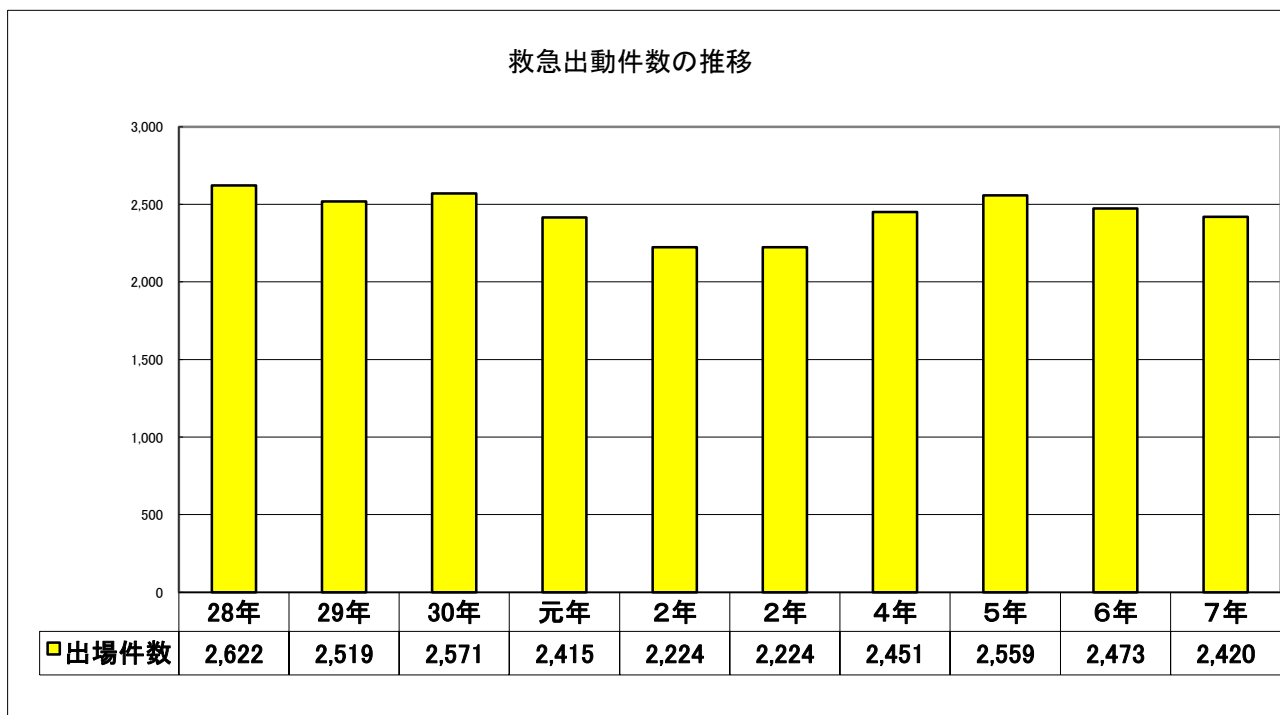
平成10年～令和5年

年別	出火日時	出火場所	気象状況				出火原因	焼損面積 (a)	損害額 (千円)
			天候	風向	風速 (m/s)	湿度 (%)			
令和4年	5月6日 12時30分	軽米町	晴	東	4	44	枯草焼きが風に煽られ付近の枯草及び山林に延焼拡大したもの。	212	2,860
平成30年	5月16日 10時00分	一戸町	曇	南西	1	44	たばこの投げ捨てにより延焼拡大したものと推定。	412	2,068
平成24年	6月13日 21時05分	二戸市	晴	南南西	3	11	木の枝を焼却中に付近の枯れ草に延焼拡大したもの。	270	3,241
平成20年	3月22日 8時40分	軽米町	晴	南	0	40	枯れ草を焼却中付近の枯れ草に燃え移り延焼拡大した。	195	0
	4月16日 11時00分	二戸市	晴	南西	3	18	枯れ草を焼却中付近の牧草に燃え移り延焼拡大した。	300	1,012
	4月17日 13時25分	二戸市	晴	北	5	20	不明	120	354
平成19年	4月10日 10時00分	軽米町	曇	南	2	45	墓の線香が風により枯れ草に燃え移り山林へ延焼拡大した。	103	0
平成14年	4月29日 15時50分	軽米町	晴	東	2	33	不明	180	4,352
平成13年	4月11日 9時00分	二戸市	晴	南東	1	53	枯れ草を焼却中付近の下草に延焼拡大した。	140	544
平成11年	6月14日 15時50分	一戸町	晴	西北西	3	11	タバコ火が付近の枯れ草に着火し延焼拡大した。	654	5,466
平成10年	4月21日 14時05分	軽米町	晴	南西	5	20	不明	14,654	321,089

< 救 急 >

年 別 救 急 出 動 状 況(過去10年間)

種別 年別	事 故 種 別														合 計
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
令和7年	10	0	7	123	35	6	315	1	18	1,666	231	0	0	8	2,420
令和6年	10	0	5	127	37	5	292	1	28	1,715	247	0	0	6	2,473
令和5年	10	0	3	106	37	4	328	6	21	1,791	248	1	0	4	2,559
令和4年	20	0	1	95	23	5	367	1	24	1,674	231	0	0	10	2,451
令和3年	13	0	1	90	23	7	298	2	23	1,593	252	0	0	11	2,313
令和2年	9	0	3	95	20	7	279	2	12	1,564	226	0	0	7	2,224
令和元年	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10	2,415
平成30年	10	0	1	138	46	6	333	6	21	1,710	290	1	0	9	2,571
平成29年	15	0	0	145	27	14	327	7	35	1,675	261	0	0	13	2,519
平成28年	6	5	2	142	25	18	349	12	25	1,754	271	0	0	13	2,622



月別救急出動状況

令和7年中

種別 月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
1月	1	0	0	10	3	0	23	0	0	172	27	236
2月	2	0	0	3	1	0	21	0	0	129	20	176
3月	1	0	0	16	3	1	27	0	1	135	15	199
4月	1	0	1	8	2	1	19	0	6	112	19	169
5月	0	0	1	8	5	1	23	0	1	152	28	219
6月	0	0	3	6	3	0	18	0	4	102	21	157
7月	0	0	0	12	4	1	34	0	1	140	11	203
8月	2	0	1	14	5	0	42	0	1	158	17	240
9月	0	0	0	9	4	1	26	1	2	135	15	193
10月	1	0	1	11	1	0	22	0	1	148	19	204
11月	1	0	0	9	1	1	26	0	0	128	26	192
12月	1	0	0	17	3	0	34	0	1	155	21	232
計	10	0	7	123	35	6	315	1	18	1,666	239	2,420

曜日別救急出動状況

令和7年中

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
月曜日	1	0	2	9	7	0	49	0	3	243	34	348
火曜日	2	0	0	12	3	1	42	0	3	240	47	350
水曜日	2	0	1	22	6	0	57	0	6	230	39	363
木曜日	2	0	0	13	4	0	37	0	3	241	42	342
金曜日	2	0	1	25	8	1	45	0	1	248	39	370
土曜日	0	0	1	20	7	1	47	0	1	241	28	346
日曜日	1	0	2	22	0	3	38	1	1	223	10	301
計	10	0	7	123	35	6	315	1	18	1,666	239	2,420

年齢区分・傷病程度別搬送人員状況

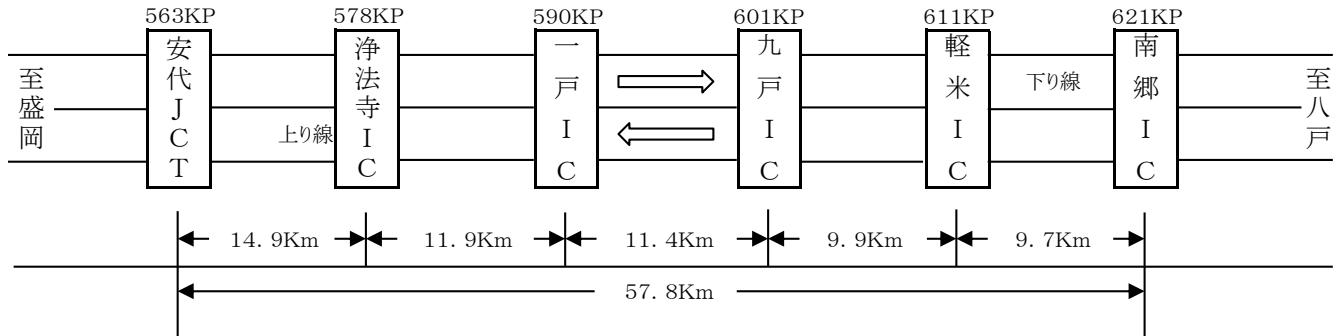
令和7年中

年齢区分	事故種類 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児 生後28日未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	軽症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
乳幼児 28日以上 7歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	15
	軽症	0	0	0	0	0	0	5	0	0	10	0	15
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小計	0	0	1	0	0	0	5	0	0	18	9	33
少年 7歳以上 18歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	中等症	0	0	0	0	0	2	2	0	1	7	1	13
	軽症	0	0	0	4	0	2	10	0	1	10	0	27
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	4	0	4	12	0	2	17	3	42
成人 18歳以上 65歳未満	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	1	10
	重症	0	0	0	2	4	0	4	0	1	24	14	49
	中等症	0	0	0	3	8	0	11	0	2	72	27	123
	軽症	0	0	0	36	9	2	31	0	2	168	3	251
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	41	21	2	46	0	6	272	45	433
高齢者 65歳以上	死亡	0	0	1	0	0	0	9	0	3	89	1	103
	重症	0	0	0	4	1	0	38	0	0	163	48	254
	中等症	1	0	0	13	7	0	55	0	0	523	102	701
	軽症	0	0	1	31	5	0	134	1	0	483	18	673
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	0	2	48	13	0	236	1	3	1,258	169	1,731
合計	死亡	0	0	1	0	0	0	9	0	4	97	2	113
	重症	0	0	0	6	5	0	42	0	1	187	67	308
	中等症	1	0	0	16	15	2	68	0	3	610	138	853
	軽症	0	0	1	71	14	4	180	1	3	671	21	966
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	0	3	93	34	6	299	1	11	1,565	228	2,241

管轄する高速自動車道の概要

【八戸自動車道 安代JCT～南郷IC間(563kp～621kp) 上・下線】

* 供用開始 一戸IC～八戸IC間 昭和61年11月27日
一戸IC～安代JCT間 平成元年 9月 7日



高速自動車道における事故等の発生状況

令和7年中

NO	区分	発生日 覚知時間	事故発生場所	出場車両	事故等の概要
1	火災	1月8日 17時18分	八戸自動車道 上り線 564.8kp付近	浄法寺タンク、二戸水槽 二戸救助、一戸救急	八戸自動車道上り線にて、車両(トラック)火災が発生し、消火活動を実施。負傷者はなし。(盛岡消防本部の安代・松尾出張所の消防隊2隊が活動。)
2	交通	1月30日 12時31分	八戸自動車道 浄法寺IC	浄法寺救急、浄法寺タンク 二戸指揮、二戸救助 一戸救急	八戸自動車道浄法寺インターチェンジ出口ランプ内で普通乗用車が路側帯やガードレールに衝突した単独事故。傷病者1名を搬送。
3	急病	7月2日 18時20分	八戸自動車道 下り線 二戸PA内	浄法寺救急	八戸自動車道下り線二戸パーキングエリア内でバスの乗客が体調不良を訴え、救急要請。傷病者1名を搬送。
4	労災	7月3日 13時35分	八戸自動車道 下り線 615.5kp付近	軽米救急	八戸自動車道下り線上で警備業務中に体調不良となる。熱中症のような症状があり、救急要請。傷病者1名を搬送。
5	急病	7月26日 9時21分	八戸自動車道 上り線 592kp付近	九戸救急、軽米タンク	八戸自動車道下り線を走行中、普通乗用車を運転中に体調不良となり、救急要請。傷病者1名を搬送。
6	交通	8月18日 10時49分	八戸自動車道 上り線 565kp付近	浄法寺救急、二戸救助	八戸自動車道上り線を走行中のオートバイによる単独事故。傷病程度に緊急性がなく、搬送希望もないため不搬送。
7	交通	9月1日 21時28分	八戸自動車道 下り線 596.2kp付近	一戸救急、一戸タンク 二戸救助	八戸自動車道下り線を走行中の普通乗用車が壁面や中央分離帯に衝突した単独事故。傷病者1名を搬送。
8	労災	9月15日 16時46分	八戸自動車道 上り線 586.7kp付近	一戸救急	八戸自動車道上り線上で工事中の作業員が体調不良となる。熱中症のような症状があり、救急要請。傷病者1名を搬送。
9	交通	10月9日 14時25分	八戸自動車道 上り線 586.4kp付近	一戸救急、一戸タンク 二戸指揮、二戸救助	八戸自動車道上り線を走行中の普通乗用車がガードレールに衝突した単独事故。傷病者1名を搬送。
10	交通	10月10日 20時13分	八戸自動車道 上り線 616kp付近	軽米救急、九戸救急 二戸救助	八戸自動車道上り線を走行していた軽自動車と普通乗用車の衝突事故。傷病者3名を搬送。(うち1名は、八戸消防本部の南郷救急隊が搬送。)
11	交通	11月4日 6時43分	八戸自動車道 上り線 603.7kp付近	軽米救急、二戸救助	八戸自動車道上り線を走行中の軽トラックがガードレールと擁壁に衝突した単独事故。傷病者1名を搬送。
12	交通	12月26日 19時26分	八戸自動車道 上り線 594.7kp付近	軽米救急、九戸救急 九戸タンク、二戸救助	八戸自動車道上り線を走行中の普通乗用車がガードレールに衝突した単独事故。傷病程度に緊急性がなく、搬送希望もないため不搬送。
13	交通	12月27日 12時58分	八戸自動車道 下り線 585kp付近	浄法寺救急、浄法寺タンク 二戸救急、二戸救助	八戸自動車道下り線を走行中の普通乗用車がガードレールに衝突した単独事故。傷病者2名を搬送。

高速自動車道における救急活動状況（過去10年間）

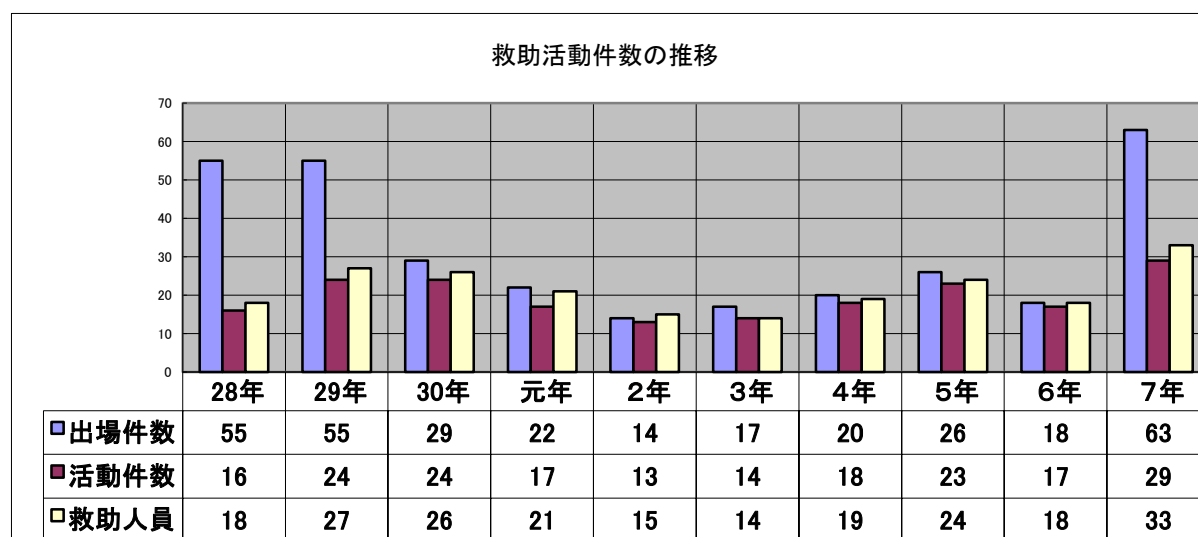
平成28年～令和 7 年

種 別 年 度 別		交 通	急 病	一般負傷	その他	計
令 和 7 年	出 動 件 数	7	2	0	3	12
	搬 送 件 数	6	2	0	2	10
	搬 送 人 員	8	2	0	2	12
令 和 6 年	出 動 件 数	8	4	0	0	12
	搬 送 件 数	7	3	0	0	10
	搬 送 人 員	7	3	0	0	10
令 和 5 年	出 動 件 数	7	2	0	2	11
	搬 送 件 数	6	1	0	1	8
	搬 送 人 員	9	1	0	1	11
令 和 4 年	出 動 件 数	2	3	0	2	7
	搬 送 件 数	1	2	0	0	3
	搬 送 人 員	1	2	0	0	3
令 和 3 年	出 動 件 数	3	0	0	1	4
	搬 送 件 数	3	0	0	0	3
	搬 送 人 員	3	0	0	0	3
令 和 2 年	出 動 件 数	2	2	0	1	5
	搬 送 件 数	2	2	0	0	4
	搬 送 人 員	2	2	0	0	4
令 和 元 年	出 動 件 数	3	2	1	0	6
	搬 送 件 数	3	2	1	0	6
	搬 送 人 員	3	2	1	0	6
平 成 30 年	出 動 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 29 年	出 動 件 数	17	3	0	1	21
	搬 送 件 数	11	3	0	0	14
	搬 送 人 員	13	3	0	0	16
平 成 28 年	出 動 件 数	6	2	0	0	8
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4

< 救 助 >

年 別 救 助 活 動 状 況 (過去10年間)

年 別	事故種別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 水 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
令和 7年	出 動 件 数	3		44	6						10	63
	活 動 件 数	3		17	3						6	29
	救 助 人 員	3		21	3						6	33
令和 6年	出 動 件 数	2		5	3		1		1		6	18
	活 動 件 数	2		4	3		1		1		6	17
	救 助 人 員	2		5	3		1		1		6	18
令和 5年	出 動 件 数	5		10	3	1					7	26
	活 動 件 数	5		9	3	1					5	23
	救 助 人 員	5		9	3	2					5	24
令和 4年	出 動 件 数	3		9	1		1				6	20
	活 動 件 数	3		8	1						6	18
	救 助 人 員	4		9	1						5	19
令和 3年	出 動 件 数	5		3	1		2				6	17
	活 動 件 数	5		2	1		1				5	14
	救 助 人 員	6		2	1		1				4	14
令和 2年	出 動 件 数	3		5	3						3	14
	活 動 件 数	3		5	2						3	13
	救 助 人 員	4		6	2						3	15
令和 元年	出 動 件 数	2		14	1		2	1			2	22
	活 動 件 数	2		10	1		1	1			2	17
	救 助 人 員	2		14	1		1	1			2	21
平成 30年	出 動 件 数	2		15		1	1	4			6	29
	活 動 件 数	2		12		1		3			6	24
	救 助 人 員	2		13		5		2			4	26
平成 29年	出 動 件 数	3		35			7				10	55
	活 動 件 数	3		10			4				7	24
	救 助 人 員	3		12			4				8	27
平成 28年	出 動 件 数			42	2	5	4				2	55
	活 動 件 数			9		5	1				1	16
	救 助 人 員			9		7	1				1	18



署・分署別救助活動状況

令和7年中

事故種別 署分署別		火	災	交通 事故	水 難 事故	自風 然水 災害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸ガ ス事 及故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
二戸 消 防 署	出 動 件 数	1		15	4						7	27
	活 動 件 数	1		6	2						4	13
	救 助 人 員	1		8	2						4	15
一戸 分 署	出 動 件 数	1		10								11
	活 動 件 数	1		5								6
	救 助 人 員	1		5								6
軽 米 分 署	出 動 件 数			10							3	13
	活 動 件 数			3							2	5
	救 助 人 員			4							2	6
浄 法 寺 分 署	出 動 件 数	1		3	2							6
	活 動 件 数	1		1	1							3
	救 助 人 員	1		2	1							4
九 戸 分 署	出 動 件 数			6								6
	活 動 件 数			2								2
	救 助 人 員			2								2
計	出 動 件 数	3	0	44	6	0	0	0	0	0	10	63
	活 動 件 数	3	0	17	3	0	0	0	0	0	6	29
	救 助 人 員	3	0	21	3	0	0	0	0	0	6	33

事 故 発 生 場 所 別 救 助 活 動 状 況

令和 7 年中

事故発生場所 事故種別			火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 水 災 害 等	機 械 に よ る 故	よ 建 る 物 事 等 故 に	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
			建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居	出動件数	3										3
		活動件数	3										3
		救助人員	3										3
	その他の屋内	出動件数											0
		活動件数											0
		救助人員											0
屋 外	道 路	高速 自動車道			4								4
													0
													0
	その他の 道 路	出動件数			39							1	40
					17								17
					21								21
	水 面	内水面				6							6
						3							3
						3							3
		外水面											0
													0
													0
	山 岳	出動件数										2	2
												1	1
												1	1
	その他の屋外	出動件数			1							7	8
												5	5
												5	5
地 下		出動件数											0
													0
													0
そ の 他		出動件数											0
													0
													0
計		出動件数	3	0	44	6	0	0	0	0	0	10	63
			3	0	17	3	0	0	0	0	0	6	29
			3	0	21	3	0	0	0	0	0	6	33

署・分署別救助出動人員状況

令和7年中

事故種別 署分署別		火	災	交通 事故	水 難 事故	自風 然水 災害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
二戸消防署	救 助 隊	11		139	18						34	202
	消 防 隊	8		40	15						9	72
	救 急 隊	3		66	15						24	108
一戸分署	消 防 隊	8		26								34
	救 急 隊	3		45								48
軽米分署	消 防 隊			23							18	41
	救 急 隊			33							9	42
浄法寺分署	消 防 隊	10		4	6							20
	救 急 隊	3		12	6							21
九戸分署	消 防 隊			17								17
	救 急 隊			30								30
計		46	0	435	60	0	0	0	0	0	94	635

署・分署別救助活動人員状況

令和7年中

事故種別 署分署別		火	災	交通 事故	水 難 事故	自風 然水 災害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
二戸消防署	救 助 隊	4		28	6						12	50
	消 防 隊	5		14	7						8	34
	救 急 隊			18	6						12	36
一戸分署	消 防 隊			12								12
	救 急 隊			12								12
軽米分署	消 防 隊			4							10	14
	救 急 隊			15							6	21
浄法寺分署	消 防 隊	1		2	2							5
	救 急 隊			3	3							6
九戸分署	消 防 隊			2								2
	救 急 隊			7								7
計		10	0	117	24	0	0	0	0	0	48	199